満洲日報
十月三十日發行
發行人 編輯人 印刷人
大連市東公園町三十一番地 満洲日報社

我全權部と軍司令部 けふ新京に移駐
武藤全權も早朝出發

三十日は奉天に於ける軍司令部の最後の日だ、昨年の九月十九日地東軍司令部が旅順から奉天に移駐してから正に一年と一ケ月有餘である、その短い期間に國際政局に響く奉天の名の如何に鮮かに輝かしいものであつたかを奉天人は今更ながら切實に考へざるを得ない、然しその誇りもけふ一日限りだ、早曉いまだ明けやらぬ奉天の町を警備のオートバイが縱横に飛ぶ、午前七時大廣場東拓ビルの正面に掲げられた「關東軍司令部」と「日本帝國特派全權部」の二つの看板は靜かにおろされた、宿舍を引揚つて奉天に於ける最後の日をヤマトホテルに送つた武藤軍司令官は七時五十分幕僚を從へてホテルを出で驛に向ふ、町々は國旗を掲げて高らかに軍司令部の引揚の進行を祝福してゐる、沿道には小中學生、女學生や市民が堵列し萬歲を叫ぶ、驛の內外は嚴重に警戒され第三ホームには見送りの日滿官民で一杯だ、その前を武藤全權は靜かに會釋しつゝ特別列車の中央部の一等展望車に乘込む、八時十分高らかい汽笛が鳴る、莊重な音樂が起る、怒濤の如ぎ武藤軍司令官萬歲々々の聲に送られて特別列車は先驅列車と飛行機の警備の下に靜かに出發する、武藤軍司令官は靜かに擧手の禮を送る、かくて我等の軍司令部と全權部は奉天を去つて新京に移たのである【奉天電話】

日滿國交愈々緊密に
全權部は大使館に變る

二十九日午後三時九分歸奉した武藤全權は市民代表その他各機關代表者よりの挨拶を受けヤマトホテルに一泊、三十日午前八時十分新京に移駐、全權部軍司令部は共に移駐したが新京移駐と共に直に全權部は大使館となり全權が大使として駐劄仰せつけられ日滿今後の連絡は一層緊密となるべく一年一ケ月餘の軍司令部の移動にその間軍としては

多大　の功績を全滿に殘し今後は王道樂土の建設さる滿洲國を飽く迄支援し鞏固なる國家の養成に全力を擁ふこととなつた、尚全權官舍は旅團長の室を小磯參謀長には旅團副官の室をあてることとなつた、なほ滿洲事變關東軍司令部將兵に對し日本全國から全國民七千萬の總動員となつて本庄前軍司令官を始め武藤軍司令官ほか關東軍將兵に國家安泰、武運長久、身體健康、護國のために祈願をこめた畏くも天照皇大神から嚴島、熱田、琴平はじめ日本津々浦々の八百萬の神々の集合祈願護り札に日蓮、眞宗、禪宗、眞言等の外天理教、大本教等々の祈願文が送られて來てゐるが

積り　積つて千餘に達し軍司令官の室內に特別安置するお宮さんを設けられてあつたが今次の念滲き武藤司令官の朝夕祈願の宮となつてゐた、今度司令部の新京移駐にこのお宮さんも修護札と共に新京に送られた、修護札中に三尺有餘のもの多數あり國民赤誠の字句が何れも素朴に現はれて自から敬虔の念に打たる【奉天電話】

感激の眞ッ只なか 全權新京入り
驛頭に起る萬歲の嵐

十月三十日、初冬の新京の空は陰なくからりと晴れ少し強くはあるが折からの西風に家々に飜へる日の丸の旗も今日を晴れとひらくと舞ひこんもりとした樹々の間からは遲れた紅葉がはらくと道路に落ちる武藤全權の

晴れ　の新京入りを迎へた新京は凡てをあげてこれを祝福してゐる、二三の歡迎飛行機は胡蝶の如く空を飛び廻つてゐる日滿兩國の完全なる提携は成立した、そして轟々たる世界の視野の中に東洋の一角より平和の樂土郷を目標とした兩國の熱烈なる希望が滿洲國成立と同時に彌が上にも高潮し三千萬滿洲國民衆と八千萬の同胞が手に手をとりあひ相助け相讓つて我等の理想境に邁進しつゝある今日新滿洲國の

首都　新京は日本全國の信賴を一身に集めた武藤全權の來京を迎へる今日、晴れの十月三十日驛前の廣場は立錐の餘地なきまで

全新京の日滿學生日滿全市民兩國の榮え行く將來を表徵したかのやうに手に手に日滿兩國旗を握り驛し群ぎ群足と足踏るがまゝに瑞雲は新京の空にみなぎりわたつてゐる、驛プラットホームには滿洲國大官要人綺羅星の如く打並び同列軍到着を待ちあぐんでゐる、執政代理鄭國務總理、筑紫參議、駒井參議をはじめ各部總長の顏觸れそれに日本側よりは田中副領事、高山署長在京軍部將校、在郷軍人代表、海友會代表、滿鐵地方團體代表等

完全　なる人の渦をつくつてゐる

高木憲兵分隊長の指揮する警戒憲兵の右往左往血ばしつた眼は蟻の子一匹も見逃さない程の嚴戒振りだ、定刻二時十分先驅車の全權乘車の臨時特別列車は滑るが如く新京驛に驀進ピタリと止まる、凛々しい軍服に身を固めた武藤全權の姿が出迎への人々の視野の中に現はれた、全權は高濱驛長小山憲兵中佐の先導で驛貴賓室に入り出迎への各團體代表より

挨拶　を受けた後驛正面玄關に姿を表した

出迎の群衆からは天地も崩れんばかりの萬歲の聲がごつさ起り全權は擧手の禮をもつて答へ乍ら自動車に乘り込む美々しく着飾つた滿洲國軍樂隊の奏樂の中にしづくと萬歲の渦まきに感謝の答禮を送りながら臨時的宿舍として充當された舊旅團長官邸さして舍に向つた

かくして武藤全權以下全權部員及び關東軍司令部其他附屬機關は

完全　に我等の新京のものとなつて日滿親善のため東洋平和のため百年の基礎を作ることゝなつた【新京電話】

日銀、滿洲國の金融調査
◇新木主事を特派

【東京三十日發】滿洲中央銀行副總裁山成喬六氏及び滿洲國財政部總務司長星野直樹氏は二十九日午後日銀當局を訪問滿洲國の財政並に金融の實情を報告說明したが日銀としては日滿兩國經濟發展上兩國の密接なる金融提携をなす必要上滿洲國の金融事情を調査することゝなり同行考查課主事新木榮吉氏を滿洲に特派するに決定來月早々出發の筈

滿鐵の人事異動は極めて小範圍
中心は總務部（次）長だけ

滿鐵の職制改正は二十七日の定例重役會議で本極りを見、關東廳および拓務省の認可を經て十一月上旬に發表を見る豫定であるが、これに基く人事異動も同時に發表を見る筈である、しかして職制改正そのものが極めて小規模で、事業部（又は興業部）が

新設　されるも單に技術局の名稱が改稱されたに過ぎず、監理部と奉天事務所が消失するも、前者はそのまゝ總務部へ、後者は地方事務所、鐵道事務所、商事部および新京支社へ轉出するだけであり、全體として何ら實質的變化を見ないので、人事異動も從つて殆どなきもの、ごとくである、これがため從來の職制改正の例に徵すれば、改制案の決定と同時に人事課が活動を開始するのであるが今年は鳴りを潛めて傍觀して居る有樣である、たゞ總務部は山崎次長の理事昇格の後任が缺員となつてゐるのでその選任と共に多少の

異動　あるものと見られてゐるが、もし傳へられるごとく在本憲裕氏が奉天事務所次長より栄すれば他に波動を及ぼすこととなからう、しかし同氏は坐骨神經痛が相當重く二箇月の休暇をとつてゐる位だから滿鐵社內で激務中の激務といはれる總務部次長（社員部長制實現すれば總務部長）の職に直に堪え得るや否や疑問とされ、その際は中西文書課長がこの榮職に昇進し、その後任には土肥人事課長もしくは部外より選任を見るに非ずやといはれてゐる、新京支社（又は出張所）は部相當箇所として相當

陣容　が張られるが、奉天事務所のごとく鐵道事務所および地方事務所を包括しないことになつてゐるから餘り多くの社員を擁することにはなるまい、又社員部長制が實現するも新京及び東京に駐在する關係上、右駐在理事が支社長事務取扱ひとなり從つて社員支社長を置くこととなしと豫想されてゐる、最も多くの變動のあるのは鐵道部だが、大部分は榮進で從來部局もしくは主任で久しく昇進が遲れがちであつた同部の中堅どころが今度は一齊に轡を並べて課長となるべく、今度の改制で最も有卦に入るは同部である、かく職制そのものが「必要なる最少限度」を根本方針として

編成　されたゞけに人事も從つて最少限度に留められ且つ昇進こそあれ淘汰は全然ないといふ職制改正の記錄破りが始めて實現することゝなつた

時節がら責任の重大を痛感
廣田公使慌しく歸る

さきに滿洲における近状視察のため朝鮮經由來滿中であつたスペイン公使太田爲吉氏は今回新たに駐露大使に榮轉を見ることゝなりその旨新京において內命を受けたので豫定を繰上げ急いで三十日出帆香港丸で歸京の途についた、日滿露不可侵條約の云々さるゝ今日ソ聯邦の滿洲國承認に對する態度好轉の

この際　更に滿洲里事件處置等々日滿露のデリケートな關係にたち〔ゝ〕た今日同大使の榮轉はその責務の重大を思はすものがあるが出發に先だちあわたゞしいうちに左の如く語る

白紙だ、白紙だ、それに色をつけたがるのは君達なんだ、六月にスペインから歸つた、滿洲の事情を見ておくことの必要に迫られてやつて來たんだ、何だがロシヤ行になりそうだが、不可侵條約なんてことについてはまだ全然考へてゐない、いづれ歸京の上中央の指示によつて動くのだ、只時局柄責任の重大なことを痛感してゐる、廣田前大使には滿洲に渡る前にお會ひして色々あちらの事情をお聞きしたりした、滿洲里事件は仲々

接觸が　やゝこしいよ、何日ロシヤに行くて、さあ歸つて見なくては判らぬがなるべく早い方が好い、十一月の終りか十二月になるだらう、ロシアは自分にとつて全然知らない土地である、この際白紙と云ふよりお話のしようがない

かくて見送りの知名士とシャンパンの杯をあげ離滿した【寫眞は船中の太田公使】

遞信局豫算等に出來る限り善處
西山部長豫算を語る

三十日入港のうすりい丸で歸連した西山關東廳財務部長は語る

關東廳の昭和八年度豫算は自分の上京前に大體の方針を授け長官にも申し上げ、松崎經理課長とも打合を遂げ方針をきめておいたので自分の不在中でも打合を遂げ大體取纏めてゐるから早速それを纏めて

打合せ　を終つた後編成を終へ松崎經理課長を一足先に上京せしめる何分滿洲國との關係が何の承諾を得たいと思つてゐるのだし豫算は既に政府に提出してゐる、臺灣、朝鮮等は既に政府に提出してあるは關東廳だけであり、遞信局關係等の通信に出來る限り力を注ぎたいと思つてゐる、これは豫算の審議も十一月から始まる豫定だから急ぎ松崎課長は十一月十五日までの間に是非着けるやうにしたいと思つてゐる、私は松崎課長より

一週間　を遲れて上京する、豫算額は未だお話しする程度には自分も聞いてゐないが、關東廳財務部の財務局等は樞密院での說明も樞府本會議に御諮詢にふやうに聞いてゐる

に關し大連、鞍山、撫順で滿鐵の方にはお話しようと考へてゐる、特に赤外線寫眞について研究してゐるがこれは測量する場合是非必要で殊に危險な所より

理研の櫻井博士來連

理化學研究所においては滿洲國並に滿洲國政府と提携の研究の交換を行ふことになり將來理研では滿洲における意味で滿鐵と種々の計ることゝなつたが…十日入港うすりい丸で理研井季雄氏が來滿した、子爵が來滿された時から運が濃厚になつたものは主として寫眞、染料の攻してゐるが今度も寫眞の

川越隨員入京

蔵相拓殖學校へ

人事

【東京三十日發】國際汽船無配　國際汽船は廿九日定時總會を開き無配當を可決した

▲西山左内氏（關東廳財務部長）三十日入港うすりい丸にて歸連
▲田村羊三氏（豆信專務）同上
▲佐藤至誠氏（大連製氷社長）同上
▲貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）同上
▲山田陸槌氏（滿蒙學校長）同上 來連
▲利根川久衞氏（陸軍省囑託）同上
▲櫻井秀雄氏（理學博士）同上
▲宮木俊三氏（大倉礦業社員）同上
▲關山延氏（高砂鐵工專務）同上
▲兒玉國雄氏（淺野物產重役）同上
▲勝木市太郎氏（ドクトル）同上
▲干靜遠氏（協和會總務處長）同上
▲太田爲吉氏（新任ロシヤ大使）三十日出帆香港丸にて歸國
▲小野日意僧正（日蓮宗管長代理）同上

五百萬圓の分だけ取敢ず詮議に決定
對滿低資融通問題で上京中の
西山財務部長歸任談

滿洲低利資金問題について上京中であつた關東廳財務部長西山左內前大連商議副會頭田村羊三の兩氏は相伴れて三十日入港のうすりい丸で歸連したが西山部長は本問題につき談話の形式で左の如く發表した

滿洲に對する低利資金問題は數年來叫ばれてゐたことであつて在滿各地商工會議所をはじめ一般商工業者からもしばしば當局へ申出があり關東廳においてもつとに其必要を認めて種々對策を講究しましたが內地等の如く借受の資格を有する府縣、市町村若くは公共的の諸組合團體のやうなものが殆んどないためにこの問題が實現されなかつたのであります

然るに　今回は時局匡救といふ意味において全滿の輿論も喧ましくなり急にこれが具體化して參つたやうなわけで先に丁度上京中の奉天商議會頭庵谷氏に運動を依賴しなほこれに引つゞき當時の大連商議副會頭田村氏の上京となり政府要路に對し長期間實に熱心な運動をつゞけられたのであります、關東廳においても武藤長官はじめこれに對しては極力援助をなすべきであると信じまして及ばずながら力を盡したのであります、その結果漸やく大藏省および拓務省の各當局も同情を以て滿洲の事情を了解され低利資金の融通は現在の滿洲に對しては甚だ必要でまた緊急を要するものであるといふことになつたのであります

唯御承知の如く先般の郵便貯金利子引下げの影響を受け貯金殘高が減少の傾向を辿つてゐるため預金部においては資金繰上今すぐ融通するわけには行かぬ

このことであります、然しこの資金繰の問題は近く解決されることになつてゐるのでその結果次に開會される預金部運用委員會で滿洲からの要求額中金融組合および輸入組合に對する五百萬圓の分について取敢ず詮議するといふ大藏省の承諾を得たわけであります

これが　實現すれば假令五百萬圓の金額に多少の查定を加へられるやうなことがあつたにせよ兎に角在滿中小商工業者に對して或程度のうるおひともなりまた一面においては現在一般に要望してゐる低金利といふ問題にも何程かでも貢獻をなすところがあるものと信じます、それで預金部より貸出の金利は三分五厘、期間は廿年で据置五年、償還十五年といふことになると思ひます、要するに本件についてこれまでの解決を得たことは實に大藏省及拓務省の當局が同情を以て理解ある態度に出られたためと亦一面において在滿邦人の熱烈なる要望支援の下に先には庵谷氏がまた更に田村氏が引きつゞき長期間に亘り獻身的

に努力せられた結果であつてこの點に對しては深く感謝してゐると同時に他面において着任匆々の武藤長官が熱心に本問題解決のために吾々を指導して下さつたことは忘れてはならないと思ひます、なほ滿洲から今回要求した

金額は　總額二千萬圓で以上の五百萬圓を除いた殘金の一千五百萬圓は不動產に對する融資でありますがこれについても前記金融組合、および輸入組合資金と同時に是非解決したいと思つて田村氏と共に極力事に當りましたが遺憾ながら手續上の事柄で少しく遲れることになりました、而してこの不動產融資についても滿洲も內地および朝鮮臺灣等と同じく不動產融資、動產融資、および補償に關する法規を制定しかつ豫算外國庫の負擔となる契約につき次の議會において協贊を得たうへ詮議さるゝことに大藏省および拓務省の內承諾を得ましたから關東廳においては何れ長官の指揮を仰ひでこの目的に向つて極力善處したいと考へてゐる次第であります

今度も努力
田村羊三氏談

西山財務部長と同船卅日入港のうすりい丸で歸連した豆信專務羊三氏は語る

低利資金問題は西山部長の話された通りだが兎に角今度の本問題議會で仙波君が出した本問請願が採擇されこゝに一つの實をさることが出來たことは成功だつた、そしてこのため門田、野田兩代議士や大藏男等が影になつて隨分努力して下さつたことは非常なものまた自分達が武藤長官の名において行くことが出來たことは常な強味で長官も非常に盡され極めて有利に解決することが出來た、大體手形だけは取れた形でもう大丈夫とは思ふが實を握るまでは安心が出來ない、今度の議會での關東廳の法案極力聲援するため全滿的に運動を興し、今後共活動なつて行くことが何より必要だ、日滿經濟問題についても色々話をつて來たがいづれ考を纏めてから發表する

護國共濟會發會式

全國民の融和調和の精神に立脚し國的共濟主義によつて入營兵士の留守家庭の後顧の憂ひなからしめるやうとの趣旨から嘉納治五郎氏を創立委員長として結成を急いでゐた護國共濟會ではこの程會長に德川家達公、副會長に近衞文麿公、嘉納治五郎氏等更に評議員に政界、實業界、學界等各方面の名士を網羅して成り二十七日午前十一時から九段偕行社に盛大なる發會式を擧げた（寫眞は德川會長の挨拶）

滿蒙の戰慄（140）
直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（四ノ一〇）

「麗」
一人が、叫んで
「來い」
麗が、笑ふと
「君はえらいよ、えらい。乾杯」

西城は、考へてゐたが
「約束、大丈夫」
「大丈夫」
麗は、決心と、憤怒とで、うなづいた。そして
（手でも握つてくれたなら、全身の力で、握り返すのに――）

「どつかで、一日か、半日、ゆつくり話する間を――いつでもいゝ作つてくれないか」
「え、こしらへる――でも、がきびしいから、半日れ」
「結構」
「きつと作るわ。貴下、いついゝの？」
「いつでも」
「日曜？」

「日曜なら、最もいゝが――休んだつていゝよ」
「休むのよかないわ」
「そうか。その時に、話しやう。僕は、未だ社に用事があるんだ。君の事が心配だから、一寸、出かけてきたけれど――」
「あら」
麗は、うれしさと、失望とに、ぢつと、西城の顏をみつめてゐた。
「明日又くる」
「さう」
麗は、微にさう云つて、手を、西城の膝の所へふれた。その手は麗の微側してゐたやうに握りしめられた。麗は、それを握り返して
「きつとね」
「あゝ」
西城は立上つた。麗は、手を放さなかつた。

飜意せねば一撃の下 蘇炳文を膺懲す

最後回答を待つのみ

【チチハル特電二十九日發】廿九日午前呼倫貝爾に立籠つた蘇炳文一派も最後の來る日を待ち廿八日チチハルを距る三里花木舟河に蘇の手兵約二旅騎兵第五團三百名、八團四百名の大部隊が先行し同地土民を脅迫して曰く「後續部隊來る、爾等立退け」と目下盛んに各部落に暴威を振つてゐるが、わが軍は何時でも彼等叛軍兵匪を撃退し得るも和平解決の方針にて蘇炳文に對し最後の警告を發してゐるから、これに對して何等かの返電ない時は斷乎として一擧に彼等叛軍兵匪を撃破する重大決心あるを示してゐるから頑迷なる蘇の進退如何に拘らず興安嶺以西の樂土建設も近き日にある

直接交渉開始まで なほ數日を要する

蘇炳文の回答を待ち 旅客機で交渉員入露

【東京三十日發】滿洲里方面監禁邦人救出に就き蘇炳文と直接交渉するため關東軍並に滿洲國より派遣される交渉員は關東軍より五、六名（委員長大佐級より選定）滿洲國より三、四名派遣する方針で委員はチチハルより交通杜絶のため旅客機で入露する事、交渉開催地並に蘇炳文側代表派遣方に就いては目下勞農政府と交渉同政府の入露承諾回答並に蘇炳文側の應諾の報を待つて出發する事になつてゐるので愈々交渉開始されるまでにはなほ數日を要するとみられてゐる

中華、全大連勝つ

蹴球聯盟秋季リーグ戰

大連蹴球聯盟主催の秀季リーグ戰第三日目隆華對中華、全大連對師範の兩戰は三十日午前九時より大連運動場に於て擧行したが隆華戰は三對二で中華勝ち全大連戰は五對一で全大連大勝した戰績左の如し

▲中華三―二隆華（主審張玉品、線審郭文才、朱長英、門審李繼昌、王慶志）

	中華		隆華
	凱裕貿達庭富煥雲		英國德奎樸作文鴻
	陳錦孫郭王呂張王		
FW			祁祺東信新堂山榮
HB			承承福德永銘壽清
FB			孫孫汪孫李士蔡宇
GK	25		
CK	1		
FK	2		
PK	0		

▲全大連五―一師範（主審宋子仁、線審韓本之、劉永剛、門審陳相生、任政國）

	全大連		師範
FW	瀬田藤井山本瀬間上田藤		答道祚文川常強聖寶鵬邦
HB	黑富名石丸山長福立内後		上十吳床大茂國光振立克
HB			李李孫王劉劉王范方安孫
GK	17		8
CK	1		5
FK	7		4
PK	1		0

籃球大會

午前中の戰績

本社後援、大連基督教青年會主催の第八回全滿籃球大會は三十日午前九時より大連第一中學校體育場に於いて全滿より十チーム參加の下に擧行、定刻九時出場チームの……

▲鞍山中學三三―二五長春商業（審判奥田、望月兩氏）（午前十時七分開始）遠來初出場の長春商業元氣一杯に戰ひ試合は技倆伯仲一進一退シー……

	鞍山中學		長春商業
F	田保		
	工山西久林		
C	井 福		
G	澤木 相松		
得點	0 4 5 0 2 1		
罰則	0 0 2 2 3 1		
野投	9		9
自由投	4		6
計	622		247

滿洲國を代表し郷軍大會へ

滿洲國國務總理鄭孝胥氏の代理として先きに九州久留米において開催された全九州在郷軍人支部大會に出席中であつた滿洲國協和會中央事務局總務處長于靜遠氏は軍政部中校囑託夏文運氏と共に廿日入港うすりい丸で來連したが語る

廿四日九州で行はれた九州在郷軍人支部大會に出席の滿洲國代表として廿日に出發約一週間を九州で暮して歸つた、統制のされた立派な郷軍の意氣には敬意を表した、我々の教へられる所は大きい殊に賀陽宮殿下に拜謁の光榮に浴したが實に私達としては感銘おく能はないところだ自分は同總會で協和會の主旨、滿洲國の將來と云つた事に關して郷軍一同に講演をして來た

俄然大連署緊張し 選擧違反摘發

高等係總出動

選擧取締に晝夜の別なく活動を續けてゐる大連署高等係では愈々投票日を一日控へた三十日、各方面から獅の鬪を引くが如き情報を手にした末光高等主任を中心に特務總出動の下に何等か秘かに協議を凝らした後、二十數名の取締員は緊張の面持ちで再び逐鹿戰場に散つて行つたが、右は巷間種々傳へられる候補者の戸別訪問、運動員にあらざる者の運動又は實彈射撃等の選擧違反事件に對しいよ〳〵調査の手を染めたものと見られ、既に當局に於ては二、三候補の違反事件の確證を握つた模樣で戰ひ酣な裏面に警戒の眼は益々鋭く光つて來た、餘すところ運動一日となり最後に各候補がどんな死もの狂ひの潜行戰を放つか、これに對する取締の手は嚴重を加へてゐるが選擧終了後には相當違反事件の摘發を見る模樣で無氣味な空氣が大連署の廊下に漂ふてゐる

恩給財團へ 五萬圓を御下賜

畏し私學御奬勵思召

【東京三十日發】天皇陛下には豫て御内意ありたる如く全國各私立學校が官公立學校の恩給制度に則り教育に專念するため財團法人恩給財團を設置する趣き聞召され私學御奬勵の畏き思召しから御補助金として五萬圓下賜の御沙汰あり當番幹事日本大學の荒川五郎氏は三十一日午前十一時宮内省に出頭宮相を經て拜受する事となつた

滿蒙學校の 卒業生を伴れて

校長の山田中將來る

滿洲を志すものにあらかじめ滿蒙知識の普及を圖る意味で、陸軍、拓務、滿鐵各方面の絶大な後援のもとに今春四月東京に開設された滿蒙學校長山田陸槌中將は同校第一回卒業生中滿洲に働きたいと云ふ健げな女性見戸部しげ子さん、佐々木初江さん鈴木初江さんの三名を伴ひ三十日入港うすりい丸で來滿したが、山田校長は語る

働くものに豫備智識を與へる機關で滿洲の事情をよく知らないで無暗に飛び出すものに相當の準備を與へるので教師も現役將校、拓務省のお役人、滿鐵社員を聘し滿蒙に關する限り地歴は勿論農工業林鑛業、水産業すべてを教へてゐる、中等學校卒業以上、大學を出たものも居るし女性も歡迎する現に今度協和會の方の仕事をすべく三名の女性が自分と一緒に來た、協和會とは特に連絡をとりさきに協和會の人達が日本に來られた時に講演をして貰つた、第一回の卒業生二百七十三名、第二回の就學中のものが二百四十名居る第一回の卒業生中に既に滿洲で職を得たものもゐる、武藤全權や高柳中將は大學で一緒だ、日露役では第一軍兵站參謀長をしてゐた（寫眞は山田校長と卒業生）

約一ケ月の豫定で出來ればチチハルまで行く、事變以來の滿洲のすべてを何事によらず何ものによらず視察して行く、滿蒙學校は六ケ月を一期とする滿洲に

協和會へ

元氣な三女性

山田校長と同行憧れの滿洲に第一歩を印した滿蒙學校卒業生中の紅三點、言ふ事が顯かで元氣一杯だ見戸部さんに佐々木さん、鈴木さん、いづれも廿歳から廿三四位、洋裝姿もピッタリしてゐる

私達、女學校を出てすぐにも滿洲へと思つたんでしたが滿洲の事を少しも知らないで飛び出してあさからつまらない目を見るよりはと云ふので丁度開校された許りの滿蒙學校へ入つたんです、協和會の于若鬪さんや馬さん達のお話も伺ひました、その他滿洲國の婦人方に色々お交際願つて非常に好感を持ちました今度願へたら協和會にでも雇つて頂きたいと思つてます、いよ〳〵私達も滿洲の人になつたんです

内地で出來ない 製品を期待する

製鋼所の出現と内地業界

日本における煖房機械製作所を打つて一丸とする國産放熱機械株式會社常務、高砂鐵工會社取締役支配人關山延氏は滿洲における煖房界の状況視察旁々新興滿洲國との取引につき調査のため三十日入港うすりい丸で來連したが、内地における製鐵界の近況につき語る

鐵工界は少し色めいて來た一つには品薄が手傳ふのもあるが、滿洲國の成立が何と云つても原因の一つだ、昭和製鋼所がいよ〳〵實現の運びになるがこれが設立は内地當業者には痛いところだがその代り我々の手で出來ないものをドシ〳〵製造して貰へば好い、例へば帶鐵の如きはルクセンブルグ、ドイツ、ベルギー邊りから仰いでゐたがそんな物も造つて貰ひたい、一番困つてゐるのは薄物鐵が品薄で一噸百五十圓位のもので半月位の間に二百五十圓から三百圓に騰つてゐる始末だ、とにかく昭和製鋼所には期待をかけてゐる八幡で出來なかつた物をドシ〳〵作つてその代り内地の營業者に脅威を與へるものは差しひかへて貰ひたい、自分の會社からはラジエーター、ボイラーなぞを滿洲に送り込んでゐるが將來愈々利用されるものと思つてその販路もよく見て行く、二週間位の豫定で奉天新京まで行く

大分縣人各位へ

特に御願

私は縣人有志の御推薦に依て今回の市會議員に立候補致しました此御同情に對して大に責任を感じ目下惡戰苦鬪し當落の境にあります決して樂觀を許しません就きましては選擧も愈々明後日に迫りました、どうか此責任を果させ當選の榮を贏ち得る樣特に御願ひ申し上げます

大連市會議員候補者 是恒金十郎

勅語御下賜

記念式

けふ各學校で

三十日は明治天皇の教育勅語御下賜の日より四十二年目の記念日に當るのでこの日を記念し市内各中等學校小學校では午前八時半より記念式を擧行教育勅語を捧讀した

小野僧正歸京

朝鮮、滿洲巡錫中の日蓮宗管長代理宗教總監小小日壽僧正一行は信徒多數の盛大な見送裡に三十日出帆のほんこん丸で歸國の途についたが語る

勅額拜戴の奉答、傳達のため朝鮮、滿洲を說教して廻りましたが滿洲訪問は滿洲國建國を祝して國都を訪問することも主要な目的になつてをりました新京では執政にもお會ひ出來、奉天では武藤全權にお會ひしました、各方面の日滿要人にお會ひすることが出來たことは何よりでした

列車内で盜難

二十九日午後九時五十五分ごろ大連驛プラットホームで市内得勝街三番地金子憲司氏が見送人と立話中十七列車三等室に置いた赤革トランク一個を何者かに竊取されたのを周水子驛に行つて氣付き屆出た、トランクの中には毛皮付トンビ（時價五十圓）外衣類數點あり大連署で犯人嚴探中

買物中にスリ

廿八日午後七時ごろ滿鐵地方課庶務係野田義氏は岩倉洋行で買物中現金十七圓餘入りの財布を掏り取られ大連署へ屆出た

新進テナー來る

事變小唄で賣出した

阿部幸次郎氏が在滿邦人慰問

新進の花形テナーとして豐富な聲量を以て前途を嘱目されてゐる歌手阿部幸次郎氏は新劇運動の大阪指星座の松本喜太郎氏と同伴して三十日入港のうすりい丸で來連した、テナー阿部幸次郎氏は東洋音樂學校出身で上海事變の勇士空閑少佐と富山中學で共に教鞭をとつたことがありその後イタリーに留學してオペラに精進し昨年六月歸朝し、滿洲事變突破と共にフリーランサーとして事變小唄をレコードに吹込み一躍大衆の支持を得てジャズソング及び民謠歌手として名聲を博し今日に至り、今回は在滿邦人の慰問を兼ね事變以來多數發表された各種の事變小唄を中心としたプログラムを組み近くリサイタルを催しデビュウする筈であるまた松本喜太郎氏は坪内士行氏を舞臺監督とする指星座同人であり且つ關西解說界の第一人者として名聲がある新人である【寫眞左阿部氏右松本氏】

けふの寫眞

【上圖】小學校の教育勅語御下賜記念式

【下圖】曾大對工大對抗障碍馬術大會

滿洲美術展雜感 一

洋畫の地方畫壇的色彩 批判さるべき製作態度

東洋畫、西洋畫を通じて靜かなる畫風が多い、西洋畫について滿洲畫壇は内地中央畫壇やフランスにおける樣にフォヴィズム、ネオ、フォヴィズム、シュール、レアリズム等々の如き躍然たる活動はない、丁度畫學生の修練時代や學校繪畫と云つた樣な平穩穩健な畫風がその大部分の壁面を占領してゐる、全體として統一性にとぼしく繪畫各々に躍然たるものを見るが事は出來ない、地方畫壇ではこの躍然たる感じは當然まぬかれぬ現象で繪畫のよきリーダーが居ない事に原因してゐる、第一回展に比し向上のむきはうかゞはれるが大別して大部分がアカデミックなもの二科展に近まつたものその他の新しいと云ふ種類のものに分類する事が出來る

アカデミックなものでは古參の人や新しくスタートした人々の作品多く一部の青年側に二科傾向その他のものを見得るのみである、假してこの展覽會の中堅をなすものは青年作家の極小部分あるのみである

總體として特に印象に殘るものをあぐれば畫を描かんとする態度に於て意識してゐるものを擧げたいと思ふ是等は何れも若い人達の仕事である事も總ての展覽會の場合と同じく他は繪を描く事それ自身漠然たる内容にて作畫した云はゞ習作と云ふ型のものでそこに構成の藝術表現の淺薄なところがあるのである

小宮山孔草（市場）忠實に見てゐる點を愛し色彩もいゝ、荒木忠三郎（靜物）健實な筆を有しアカデミズムの中でも出色の作であらう、久留島則（公園の秋）畫としてのまとまりをとる、本田平八郎（郊外へ行く道）畫面に面白い空氣をもつてゐる達者な筆勢をもつてゐる、大森義夫（胡弓を持つ男）光線、色彩のあかぬけした點、デッサンがしつかりしてゐて好い、佐藤功（エスパンカ）光線、色彩共によく眞實な腕をもつてゐる、直原明道（靜物）デッサンが變だが其の技法に時代性をもつてゐるし一方向をうかがひ得る、伊藤金藏（ガス臺）モチーフの面白さを見る事が出來る、樋口成敏（小品二ツ）文學的な氣持をもつ唯一の作だ、川上草子（立ち木ある風景）畫面全體を構成する最感に於て又よく引きしまつたまとまりをもつ、木立ちに對する色彩感もデリケートである渡邊隆一（新京風景）二科傾向を多分にもちコイキと共に多分なテクニシャンである、山城竹次（金州風景）空のあたたかさを賞したい、平島信（小平島）中景の海がどうかと思はれるが畫面全般に醜味を充分もつてゐる小品の方によさを見る、谷山靜生（ジャパサラサを配したる花）實に器用に描きあげてある、山本芳智（コスモス）一つの靜物である、河南拓陽）多分に牧歌的な色彩をもつてゐる、濱野正義（伏見）畫面に白いてすりがよくきいてゐる、場中の佳作として奥行雄（千九百卅一年型）九三〇年展傾向の色彩を努力の作品である、セザンヌに……うらむ男）鈴木……ターを持つ男）現在に存るされた傾向のものである勉（ボクサー）新しい傾向をもってフォーヴィズムに入れの、一つで、氣樂な表現白線もよくきいてゐる、……（來驟雨）コムポジシ……い文學的繪畫ち……

最後に鑑賞の見方即ち認識……であつてほしい、見方がが……してゐる事はその結果に於……な好結果をもたらすと否と……なるからだ、嚴格な意味に……會の一員である事を自覺し……的な立場による製作をな……よろこびのためにも自分達……の態度を眞劍にしデカタン……で不自然な製作即ち享樂的……かける製作を排除すべきだ……ると共に、只描くと云ふ事……なく描く事の必然を決定す……決定性の論にも充分な理論……のあらん事を望むのである……滿に於ても時代的方向に對……者の總體的な批判を必要と……ではないかと思ふ

國難日本刀 (140)

高桑義生作
京極佳夕畫

浪士團と彼(十)

一刻ばかりの後、瀧次と瓏吉の二人は、赤坂溜池に出て、花菱といふ小料理屋の、のれんをおしわけた。

そこで、桂小五郎を待ち合せる約束。

小五郎は、日比谷御門外の藩邸にゐた。

瀧次とは、急場の連絡がついてゐるので、待つ間もなく、小五郎はおなじ職人の扮裝でやつて來た。

「待つたか？」

「いゝえ、つい今しがた、お先にぼつ／＼やつてますぜ」

瓏吉は居ずまひを直した。

「かまはず、おやんなさい。この仁だな」

「さうです」

「わしが桂」

「瓏吉と申します」

ひき合せは濟んだ。形ばかりの盃の遣り取りがすむと

「早速だが、あんたの思ふまゝを腹藏なく話して貰ひたいものだが……左様、下田の一件——そこらからいとぐちを切つて貰はう」

と小五郎は口を切つた。

「失禮ですが……」

と瓏吉は答へた。

「わつしの先生が生きてゐるといふ——。わつしも及ぶ限りは探つて見たのですが、しかし、手前などとは御身分が違ふのですから、或はお話のやうな事が……」

小五郎に會つた瓏吉、なぜか信じられるやうな氣がして來た。

「もし眞實生きてゐるのなら、きつとお骨折りが願へろといふ——お言葉を頂きてえもので……」

「ウム、たしかに生きてゐる。きつと引受ける」

と、小五郎は自信あるらしく答へた。

瓏吉は十年前の苦鬪を、あの頃の苦心慘澹のあとを、なつかしく思ひ返して——米艦密乘の一件を語り出した。

小五郎はまた、同郷の先輩で——その後安政の大獄で再度捕はれて、小塚原に刑死した松陰吉田寅次郎の、時もおなじ、場所もおなじ米艦密乘事件を思ひながら、瓏吉のはなしを傾聽したのだつた。

「——先生は、さうして、御自分で手をうしろにまはして、お繩をお受けになつたのです。もしも、わたしといふ者がなかつたら？わたしや音作に罪はない、罪もない者を捕へさせたのは自分だ。すべての責が御自分にあるとお考へになつたからなので、先生は一人で罪を受けて、わたし達の助命を願つた——たゞわたし達のために捕はれたのです。だから、殘念でたまりません。取るに足られえわたし達のために、大切な人を、この國のために、なくてはならねえ立派な人を、あたら牢内に殺してしまつたのだ。先生のお心得は、底が知れねえ。こりやアせつかくのお尋ねですが、あさはかなわたし達にはわかりません。何と申しあげる事も出來ねえ位ですが、わたしは、この世の中の誰よりも、先生といふ人を信じてゐます。頼りにしてゐます。先生さへ生きてゐたら、わたしの眼の先は明るい。先生のお指圖で、わたしもいくらか人間なみの仕事が出來たのです

今のわたしはめくら蛇も同然で、暴れまはつてゐますが、時々はふいと、これでいゝのか——たとへ世の中を呪つてはゐても、人の迷惑を——人を斬つたり、掠奪したり、これでいゝのか？異人は憎い。考へやうによつては先生の仇だが、先生はけつして異人を惡くいはなかつた。先生のやうないゝ人はありません、立派な人はありません。國のために、そして大勢の人のために、先生はいつも身を棄てかゝつてゐる。學問もお出來になる。劍術も——先生さへ生きてゐてくれたら……」

瓏吉の言葉は、はてしもなく續くのだつた。

「あんたの眞情だけでも、その人は生きてゐる。生きてゐなければならぬ」

小五郎はお加代を思ひ合せて、強く心を打たれた。羨むべき人間——と思ふのだつた。

協和會館映畫

大連滿鐵社員倶樂部では三十一日午後六時半から協和會館で映畫會を主催し松竹時代劇トーキー林長二郎主演「怒濤の騎士」八卷及び松竹蒲田作品八雲恵美子主演「涙の曉」十卷を上映、會費は大人四十錢會員外六十錢で「涙の曉」は白藤六郎が解說する

映畫舞踊週間

常盤座では卅一日からワーナー映畫喜劇「愉快な相棒」RKO發聲映畫「ナイトパレード」を上映、餘興としてセルビアン舞踊團を上演して映畫と舞踊週間を催すが入場料は五十錢である

大毎活寫支庫

大阪毎日では、つとにフイルム、ライブラリーを設置して活躍好評を博してゐるが、先に同社水野活映班主務が來滿フイルム、ライブラリー講習會を沿線各都市で開催したところ成績すこぶる良好で、全滿教育團體より滿洲に支庫設置方を要望したので同社では今回奉天に支庫を設置すると同時に大連では北大山通大毎大連支局内に分庫を設け、その事務を永年同社に對しキネマニュースを製作提供してゐる滿洲映畫社成田健吉氏に囑託した

愈今明日限り
好評の『プレジャンの船唄』

秋の映畫陣を飾つて初日以來盛況をつゞけ來つた本社後援の「プレジャンの船唄」觀賞讀者優待映畫會はいよ／＼白熱的人氣を煽つて映畫ファンから絶讃の的となり益々好評を博しつゝあるが、今明日限りであるからこの機會を逸せず巴里の屋根の下以來のプレジャンの名聲を更に高めたフランス映畫の精粹である「プレジャンの船唄」を本紙刷込み優待割引券を利用して觀賞されたい、恐らく今秋の映畫シーズンの洋畫のうち最も優秀な作品として映畫愛好家の期待にそふものがあることを信じ本社の推薦する映畫である

お化粧の常識 十一

同年配のお孃さん方に 私の白粉の經驗を――

尾上菊枝孃

齢も行かない、云はゞ未だ小供も同然の私が、しかも同年配の皆様方に經驗話など、一角生意氣らしく聞えては面映い次第ではございますが、唯白粉の事に就いては、夙くから菊五郎丈に從つて舞臺へ立つて居ります關係から、或は皆様方に一日の長とやらで、多少とも御參考に成る事も有らうかと、見たり聞いたり又經驗しました事を申上げて見るだけで御座います。

菊五郎丈と申せば直ぐ、定めし皆様方――と申しましても勿論此白粉の方に多少とも興味をお有ちの方に限る事ですが、其皆様方はキット日本で初めてチタニウムを使つた白粉、委しく云へば無鉛無害の二酸化チタニウムに或る成分を配劑して成功したサーワ白粉を御連想遊はす事かと存じますが、私も勿論最初から此サーワ白粉を使用致して居ります。

菊五郎丈は衛生上からは云ふ迄も無く、白粉が目的とするお化粧の效果からも共に、此白粉を

日本一の白粉

として世間に推奨して居りますがそれは菊五郎丈のみの事では無く私が矢張御一緒に舞臺へ立たして頂いた他の歌舞伎畠の諸優も、又新派の河合、喜多村、花柳等の諸優も或は米國で成功され、歸朝されて寵濱もされた早川氏も、凡そ誰彼と云はず白粉に最も縁の深い舞臺方面の先輩諸優は、揃つて此白粉の化粧效果を樂しまれ、同時に世間の皆樣にも推奨されて居られるのでございます。

勿論舞臺化粧は何ちらかと云へば遠目を標準と致しますから一般に其化粧法も強く激しいので、そつくり其儘を皆様平生のお化粧に移すわけには參りませんが、然し化粧法としては昔から一番進んだものですから、之の要領を一般に穩かにし手加減して、そして應用なされば宜しい譯で、つまりお化粧の要は、缺點を隱して

長所を生かす

所に在るのだと存じます。

何しろ此サーワ白粉と申しますのは美しく附着く白粉で、コウ何とも下品に冴えますから、舞臺でも此白粉で化粧して居る俳優は、それと直ぐに分ります。と云ふのが實に凛然とした、即ち生々とした印象で、従來の化粧のやうに何と無くボヤケた感じが有りませんからで、同時に之を舞臺の方から見ましても、お客様で此白粉を使つてお出での方は直ぐと見分けが附きます譯で御座います。

其上に伸びが又素晴しく宜しい白粉でして、何でも凡そ三倍からもよく伸びると云ひますが、それも成程と頷けますのは、論より證據従來の半量以下で却つて以上の化粧效果が揚がりますので、例の鮮かなといふ形容詞は實にサーワ白粉の此仕上りの美しさの爲の詞かとも云ひ度い位で御座います

そして而も夫れが汗が出ましても

却々に崩れず

又時が經つて粉が浮くといふ様な事も無く、何時迄も同じ美しさが寧ろ時が經つ程美しい位のお化粧が實に永く保つので御座います。

私共家庭では、樂屋での濃化粧とは違つて何時も、一寸外出などいふ時にも全く簡單にチョイ〳〵と化粧して了ひますので、例へば煉とか水白粉とかの類なれば、單にそれを夫々適當に溶いて刷毛で塗るとか、或は粉ならばパフで簡單にハタキ込むとか、云はゞ夫だけですが、それ丈でも此白粉だと全く美しく出來ます。が、然しお化粧の本來は私共が樂屋で致しますやうに、出來るだけ順序を踏んで可憐に、つまり面倒くさがらずに、而も始めたなら手早くしなければ成らないものかと存じます。

例へば今

湯上りのお化粧

だと致しますと、申す迄も無く先づ入浴中に地肌の汚れた脂肪を落さなくては成りませんが、それには必ず肌當りの緩和な、流した後迄ぬらつかぬ石鹸、例へばミツワ石鹸の如きを使ひ、お化粧は湯上り直ぐですと肝腎の白粉が落着かず、直きに崩れたがりますから、是非とも其處に多少の時間を措いて地肌がすつかりと落着いた所で先づサーワの化粧水を襟からお顔一面に擦込みます。それから襟白粉のためには耳掻一二杯分位のサーワ白粉下を掌によく伸ばしてから、咽喉から耳の後ろ、又後襟へと萬遍無く擦込んで殆んど掌にも脂氣を感じない位にまでシッカリと撫でます。

次にサーワの固煉でも或は新らしい固形白粉でも溶皿へ溶いて塗刷毛で塗込み、それが乾いた所で

水刷毛を掛ける。

と今度はお顔ですが、先づサーワの頬紅を眼の周圍へは薄く、それから兩頬へはそれよりは一寸濃目に附けて水刷毛をシッカリと掛け、其濕りを押へてからパフで粉白粉を押付ける様に刷き、其上から水白粉を薄めて塗り、再び粉を打込み終つてガーゼか何かで全体を押へて、それから眉や睫毛に附いてゐる餘分の白粉を除り、そして眉墨、口紅といふ順序で御座いますが、之等も勿論白粉と同系統のサーワ眉墨、サーワ口紅を用ひます。

一寸技巧の要りますのは襟白粉とお顔との繼目ですが、之は刷毛でボカせばよく、又頬紅の塗り場所はお顔の形に據る事ですから、總へは鏡に向つて御自分で工夫なさるのが一番宜しい譯。大体に白粉の部分は高く、紅の所は低く見えるもので御座いますが然し、紅が却つて注意を惹いて高く見えるやうな場合もありますから、夫々に御研究を願ひます次第です。

小冊子「白粉の常識」一 新聞名記入御申越次第送呈 東京日本橋區米澤町 ミツワ石鹸本舗 丸見屋商店

滿洲日報

日支紛爭討議の行く處

各國暗中模索乍ら　微かに見える二案

注目を惹く英米國の策動　嚴然と臨む我帝國

【東京三十日發】國際聯盟が滿洲問題を繞る日支紛爭の最終的結末を如何につけるべきかに就ては聯盟當局は勿論各國政府も今のところ全く暗中模索の狀態でお互にその態度を注目してゐるのみである、右は主としてアメリカ大統領選擧戰やドイツ對聯盟の軍備平等問題及び日英米佛伊五國會議と軍縮會議等にそれぞれ目鼻がつかざるため殊に英米間には軍縮問題と滿洲問題とを關連せしめて對日共同戰線を策せんとの潜行運動が相當深刻に行はれてゐる模樣で米國軍縮代表デヴイス氏は

最近　ロンドン、パリ、ジユネーヴの間に懸命の奔走を續けてゐる事實は著るしく歐洲外交界の注目を惹いてゐる、斯くの如き米國側の策動の結果如何なる結論に導き出すかに就いては容易に豫測を許さない、たゞ英米における政府筋で連絡ありと思惟さるゝ輿論についてこれを綜合するに日支紛爭に對しては今のところ大體次の如き二樣の方策を講ぜんとしてゐるのではないかと觀測さる、即ち聯盟としては日本との正面衝突に依る聯盟自體の崩壊を避けるためこれに對し一種の繼續委員會を設置しこれにリットン報告書と日支兩國の意見書の

審議　を委託せんとするもので他の一案は日支直接交渉に依つて解決を圖らんとするもので更にこの交渉を最も效果的に進捗せしめんが爲め聯盟國中日支問題に比較的關係の深い諸國からそれぞれ委員を選出しもつて一種の國際共同委員會を設けこの委員會をして日支交渉の斡旋又は監視をなさしめんとするものである、然しながら我國としては日支紛爭の

複雜　なる特殊性と現在の事態を無視し問題を單純なる國際委員會に無條件に附託することは容易に應じ難いとしてゐる

『理事會延期も可』議長の申入れ

我政府必要を認めず

【東京三十日發】リットン報告書審議の聯盟理事會は十一月十四日より開會の豫定であるが廿九日外務省に到達せる長岡代表よりの公電によれば理事會議長デヴアレラ氏は廿八日長岡代表宛

理事會は十一月十四日開催豫定なるが未だ決定せるに非ず議長の權限で一週間開會を延期し得ることになつてゐる、就いては日本の意見書は何時到着するかそれに依つては理事會を十一月廿一日迄延期し度い

との趣旨を申入れた、右公電に接した内田外相は直に外務省首腦部會議を開き左の訓電を發した

帝國の意見書は松岡代表が携行して十一月九日にはジユネーヴに到着の筈で吉田大使の携行せるものは修正の若干部分であるから帝國としては理事會を延期さす理由を認めない、併し議長が完全な意見書の到着を必要とせば帝國政府は固より理事會の延期に反對するものでない

幾分遲延か

【東京二十九日發】日支紛爭を審議すべき聯盟理事會は十一月十四日開會されることになつてゐるが右に關しドラモンド事務總長は去る二十六日我長岡代表に我國の都合を照會して來た、依つて外務省では打合せの結果意見書は既に松岡代表携行十一月九日ジユネーヴ着の豫定であり各提案書は吉田大使携行十三、四日頃着の豫定だが若し聯盟側で急ぐなら松岡代表携行の大綱に電報で追加訂正を送るも差支なく、いづれにしても十四日の開會までには間に合ふやう取計らふ旨申送つたが實際問題として事務局側の準備の都合もあり幾分遲延するかも知れない

日米關係を樂觀

キヤツスル氏の演説

【シンシナチ二十九日發】米國國務次官キヤツスル氏は今朝當地コンモンハウス倶樂部會合席上日米關係に就き左の如き樂觀意見を述べた

日米兩國關係は數ケ月前には極めて困難の狀を呈してゐたが今や日米間の完全な諒解は極めて有望である、さいふのは日本も最近米國が決して日本の滿洲に對する態度に對し率先して反對してゐないさいふことを悟つて來たからだ

佛の新軍縮案と米國の態度

一部米の政策ご背馳

【ワシントン二十九日發】米國務省は佛の新軍縮提案を興味を以て研究してゐるが佛の新提案中には米との協定締結の可能性を豫見して居る之に就いては米政府はかゝる協定締結には反對を表明して居り又國際軍隊設置には不同意の態度を持して居た關係上佛案の或部分に就いては米の政策と背馳するものがあるとして居るやうである併しこれが爲め米政府が佛案を全然的に考慮しないだらうとは解釋されて居ない、即ち米は國際軍隊への加入を提議しないが米官邊ではかゝる軍隊が歐洲人のみで構成されるから米は必ずしもこれに反對しない可能性ありといふに在る尚戰爭に愬へる前に協議すべしとする佛の提案は中立國よりは紛爭當事國自身を拘束するものであるから他國の紛爭に就き中立國が協議すべきことを要求せる從來の協議協定案には別個の考慮を挑はるべきものであるとして居る

重要會見

デ、エ兩氏

【パリー二十九日發】英政府要路との會談を終へ壽府へ歸還の途にある軍縮會議米國代表デヴイス氏は二十九日佛首相エリオ氏並に陸相ポンクール氏と會見したが右會見席上デヴイス氏はケロツグ不戰條約擁護のため米政府は武力を行使することを得ない旨個人的見解として表明した、右報道はパリー駐劄米官邊の傳へる所だが右會談でエリオ首相近く再開される軍縮會議總部會に提出さるべきフランスの軍縮案の主要點を説明特に短期徴兵制度を以て傭兵制度に代へんとの案は米國には適用せず且つ英國をも除いて歐洲大陸諸國に限らるゝものなることを言明した

大學教授聯盟　報告批判演説

【東京三十日發】全國大學教授聯盟のリットン報告批判演説會は二十九日午後一時青山會館で開會松波仁一郎、松原勝男氏以下各博士熱辯を揮ひ午後五時散會した

米トマス氏の外交政策

【ボストン二十九日發】社會黨の米國大統領候補ノーマントマス氏は本日外交協會で同黨の外交政策に就き演説し世界平和を齎すべき社會主義を基調とする外交政策として左の六項目を擧げた

一、米國のソウエート聯邦政府承認

二、世界經濟會議に於て聯合國間の戰債を整理すること

三、徹底的軍縮

四、侵略國に對する武器、戰爭器具の輸出の禁止及び資金融通の禁止

五、ラテン、アメリカに對する帝國主義の廢止

六、軍事教育の廢止

日本ファッショの擡頭

米外交協會發表

【ワシントン二十九日發】不偏不黨の外交問題調査機關と認められて居る當地の外交協會は「日本に於けるファシズムの擡頭」と題する報告書を發表したがその中で次の如く述べて居る

日本の軍部指導者は滿洲事件の軍事費徴收さ不況に喘ぐ大衆の緊急匡救費を得る爲めに軍部に政權を獲得し經濟機構の思ひ切つた社會主義化を企てるかも知れぬさ豫見される、併し政黨政治を顚覆せんさするかゝる企は

民間有力者を拔擢　大公使に任用せよ

貴族院各派で要望

【東京三十日發】貴族院各派では我對外政策に就いて最近非常に重視し來つたが滿洲問題を惹起した當時我外務當局が列國に對し充分に諒解せしめ得なかつた事實等に鑑し在外使臣の更新を要望してゐたが最近内田外相が聯盟代表に松岡洋右氏を任用したことが世間の受けも良く適材適所の人事行政であつたが更に一歩を進めて民間の有力者を拔擢して大公使に任命するの英斷に出で外交の刷新を圖る可きだとの要望が強く行はれてゐる

蔣介石の獨裁ぶり　漸く熾烈化す

辛辣に反對派を彈壓

【漢口三十日發】蔣介石が總司令部を漢口に設置すると共に湖北省をして全國の模範省たらしむると聲明し爾來政治、軍事、經濟の徹底的改善振革を圖り着々實行しつゝあることは既報の通りだが殊に軍規確立に對しては峻嚴を極め共產軍討伐に當り故なくして退却した者旅團長一、聯隊長二、大隊長十數名で以下將校を合し百餘名に上り成績優良の部隊には賞を與へる等賞罰共に行ひ爲めに討伐軍の士氣大に舉がり多年共匪軍が根據地としてゐる全家寨の巢窟を占領して匪軍を四散狀態に陷らしめ一方武漢並に地方各行政財政の刷新を圖り全省六十八縣中ソウエート軍の蟠居する廿六縣を除く四十二縣の縣知事を鈍感の名を以て處罰拘禁し省政府の陳克明局長を收賄

理由　で銃殺處分に附されたとの

死刑　を求刑されてゐる、最近には省市政府の人員半減の大整理を斷行市内の巡警を大半藍衣の右翼系軍に代へて專ら反對派の檢擧彈壓に當らせてゐるのが目立ち省主席の後任には蔣介石の秘書長楊永泰が据ること確實である斯くの如く當地に於ける蔣介石の獨裁ぶりは日と共に發揮され湖北の地盤固まり次第事實上のファッショ總司令部を江西、河南、安徽に

順次　移駐する計畫になつてゐる、なほ蔣介石個人の長沙行きは表面視察と稱されてゐるが一般には何健追出しのためと信ぜられてゐる

長沙行目的

何健説得のため

【漢口三十日發】蔣介石が突如長沙に赴いたことは時節柄各方面から注目されるところだがその目的に就き支那側有力者の談を綜合するに西南各省の反蔣的獨立運動の氣運漸く盛となり、この儘放擲するに於ては蔣が據らんとする湖北の地盤が少からず脅威を受けることになるのでこれが對策のため從來蔣が數次の招電にも應ぜず洞ケ峠をきめ込んでゐる湖南の何健説得のため自らわざく長沙に出向いたものである、となほ蔣は二十八日長沙に直行せず、洞庭湖の君山で何健と協議中と云はれてゐる

陸軍明年度豫算　曲折を見ん

結局政治的に解決か

【東京三十日發】陸軍では明年度豫算に對し大藏省が如何なる査定を行ふかに就いてその結果を待つてゐるが高橋藏相、荒木陸相會見及び大藏當局と陸軍當局との數次に亙る下交渉に依り判斷するときは大藏當局でも時局の關係上軍部豫算に對しては充分諒解を有してゐるが一方國家財政の現狀よりして相當額の査定を通告し來るものと觀てゐる、而して大藏省に提出した豫算額は

約五億千萬圓の中一般豫算一億九千萬圓、滿洲事件費並に在滿兵力整備費一億八千萬圓、軍需品整備費一億八千萬圓

と觀られるが陸軍では滿洲事件費並に在滿兵力整備費は明年度における滿洲駐兵及び日滿兩國議定書の條項に基く滿洲の治安確保するためには必然的に要する經費であり又軍需品整備費は現下國際關係の重大性と中小商工業者救濟の一石二鳥の效果を持ち且つ今回要求した豫算は現下の時局より緊急已むを得ざる最小限度のものだとしてなり大藏省側が多額の削減を要するものと見られるので相當紆餘曲折を見ることになり結局は荒木高橋兩相の政治的解決に委ねられることとなる模樣である

必然的に資本家との衝突を惹起し而してかゝる衝突は又第二の維新とも稱すべき過激な社會革命へ將來するに至るかも知れない

民政黨の新政策　四五日ころ決定

豫算編成前政府に進言

【東京三十日發】民政黨は新政策に關し夙に經濟部特別委員會で成案を得たが貨幣政策中心平價解禁に對し五、六年先のことを今から黨議を定めて置くにも及ぶまいとの異論が出て最後の決定までに至つて居ない、併しこれ等に就いては至急決定し特に爲替安定のため過度のインフレーションを防止することを始め財政策その他必要な部分に就いては豫算編成前に政府に進言同黨の匡救政策を明年豫算に織込ましむるの要ある爲め近く若槻總裁等が地方遊説より歸京するを待ち來月四、五日頃政務調査總會を開きこれが決定をなすことゝなつた

武藤全權奉天出發

（上）見送の官民　（下）武藤全權

市議戰最後の決戰へ

優勢彷徨苦戰各組　入亂れて血戰

大勢八分通り決まる

多端なる大連市政に對し一萬五千有餘の市民有權者がどれ程の理解と認識を以てゐるか明確に刻みつけられる市會議員選擧の淸算日もいよく一日に迫つた、戰線極まりない戰線の起伏も漸くその軌につき四十一名の各立候補者は今やゴール前五分間のひたむきの驀進をつゞけてゐるが殊に三十日の日曜日はその最後的運命を決する重大な決戰日とて各陣營は何れも攻守一如の戰術に一弾も見せぬ白熱振りである、危急を告ぐる戰雲は報來頻りに去來して各選擧本部では直に全軍總出動の命を下し優勢組は主力を守備に彷徨組は守備に

攻擊　に苦戰組はまた乾坤一擲のるかそるかの追擊を開始し全市は三度擧げて戰場の巷と化した、或候補者は自ら馬を陣頭に進め龍蛇宅全軍を指揮し、或候補者は單身敵地に躍り込み獅子奮迅の武者振りを爲し、或候補者は阿修羅の如く戰線を縱横に驅めぐり鬼神も避くる三舍の兵法にこゝを先途と闘ふ文字通りの血戰である

この陣頭に立ち苦戰渦中に喘いでゐた有馬候補は死を賭した突戰漸く酬いられ辛くも當落線突破の曙光を見出し志村候補また三度有利に展開しやゝ愁眉を開く程度に至り矢野候補も當落線より頭角を現はし今一歩で確實さいふ危い處まで漕ぎつけた、上原候補また漸次頽勢を

挽回　して仄かな光明を認め出し、大内、高塚、三田各候補もあやうく危機を脫し中川、石川、桑野、佐多候補も苦戰組から彷徨組に更らに一步を踏み出したかの情勢にあり、是恒、恩田兩候補は好轉したさも傳へられまた苦戰だとも放送される、石本、立石、林田、鶴澤、田尻鈴木各候補は六路三略の用兵功を奏せず好轉したり逆轉したり當落の岐路を往來し田中（正）、栗崎兩候補はまた全兵力を擧げて猛襲を試みたが未だなほ苦戰中だと噂されてゐる

大勢は八分通り決したが中部戰線から東部戰線にかけてはなほ亂戰狀態をつゞけ混沌たるものあり、ロシア町方面の北部戰線には卅一日に鈴木候補が最後の逆襲を試むべく準備中で伏見臺方面また多少の動きを見せてゐる、老虎灘方面の南部戰線は聖德街方面と同樣大方票の

分野　が決り沙河口方面の西部戰線また大連側の各候補が精銳をすぐつて怒濤の如く押し寄せなほ砂塵濛々の大接戰を演じてゐる、暗の街衢に自動車は電の如く疾驅し各陣營の電話は慌しく鳴り響いて深更の大連に一種の不氣味さを添へてゐるが一方看板戰術も一層の熾烈さを加へ滿鐵本社前、常盤橋、中央公園入口、大正廣場等投票場近い目抜の場所には集中的の並列を見せいよく終焉迫るの感を刻み付けてゐる、三十一日運動最終の日、各立候補は頑張れ而して突つ込めの標語をモットーに凜々しく誓ひ立つて陣頭より一歩も引かぬ頑張りを見せてゐる

滿鐵側陣營　形勢何れも混沌

各候補の事務所を伺ふ

市議選擧を目前に控へた滿鐵側の立候補者の陣營も今は全く血眼の活動で孰れも混沌とし社内各所に設けた選擧事務所は何れも動員令を下して最後の奇襲に一路ゴールに突進してゐる、廿九日午後から霞町倶樂部に各候補者の事務所に伺ひを立てながら東海豊通の觀測を除いて見る

▲直塚芳夫氏　今のところ直塚君が一番好いだらう、然しこれも結束が崩れないと見てだよ、何分直塚君はあの通り眞面目な男だし人から賴られる男だよ

▲山口十助氏　山口君は氣の毒だ社の重要問題で奉天に出張し選擧以上の忙しい思をしてゐるのだからな、最初は運動不足で立遲れて斷然悲觀狀態にあつたが最近鐵道部技術關係の結束が固くなり運まきながら埠頭にも進出したからこの調子ではまあ安心だらう

▲千種峰藏氏　千種君は選擧でポーツとしたのか別頭病臥してしまつたれ、廿九日からは元氣に出社したがこの間の運動不足は大きいよ、然し決して悲觀さいふ所ではない、星ケ浦での得票もあらうし人好きのする人だからこれもまあ安心のところだらう

▲西田猪之輔氏　西田君は流石に能率專門家だけあつて遣ふれ、着實に有効に社外にまで手を擴げてゐるから社内では一番安全の組だらう、それに運動も早かつた、選擧委員長は智謀市川經理部次長であり、精々地盤固めに努めてゐることだらう

▲松浦開地良氏　一番評判が良いので本人は悲觀してゐるよ、そのため經濟調査會がぐらつく、埠頭の地盤に喰込まれるので觸氣なお父さんもまごついてゐるよ、然し評判が好いことは事實なんだし、この上は地盤を守つて敵襲を防ぐのが第一だ三十一日午後零時半から協和會館で演説會をやるさうだ

▲一宮章氏、菅原恒男氏　二人は周知の如く沙河口工場を地盤にして鐵補の固さを誇つてゐたが最近無碍にもその一部を喰込まれ殊に一宮君が酷いさかで大分騷いでゐるやうだ、モンロー主義を唱へて唯結束だけに血眼となつてゐるのだしまあ大丈夫さは思ふが兎に角これではならぬと卅一日には霞町社員倶樂部で最後の演説會をやるさうだ

鈴木候補演說會

鈴木丈次郎候補は三十一日午後七時より濱町滿鐵ドックの倶樂部で政見發表演說會を開くが應援辯士左の通りである

鳥飼琢郎、田中儀作、藤永賀久磯、口助次郎、野村熊介、渡邊狂虎、上田省三

旅順市議戰　大詰へ

旅順市議戰愈々ゴールに這入る大勢巳に決し早策動白兵戰も演ぜられず最後の審判を待つばかりとなつた

英獨通商會議　近くベルリンで

【ロンドン二十九日發】英本國はドイツ石炭問題並にドイツ品差別待遇、關稅問題でベルリンで商議を遂げる用意ある旨ドイツ政府に通告した旨二十九日公表した、右の結果近く英獨間に通商條約改訂交渉が行はれるものと觀らる

安藤要塞司令官

安藤旅順要塞司令官は山口副官を帶同三十一日自動車にて赴連十一時大連發便船にて青島に赴き同地の軍事敎練を視察の上五日歸旅の豫定

溥公府一家を訪ふ

再興の喜びに半生の苦難を語る

張學良の魔手に自領を失つて執政に面謁する迄

溥儀華やかなりし頃の一日四百五十兩、年俸千兩、米三百二十石其の他一年四萬兩といふ繁華の生活から一朝にして死活線上の落伍者に顚落し滿洲國の

＝成立＝によつてはしなくも再び昔の生活に還るといふ近代ドラマの主人公溥公府一家を奉天松島町十六番地の寓居に訪れた

……◇……

十軒長屋の中央を雨ざらしの梯子によつて上ると突き當りの土間には洗濯盥、土窯などが雜然ところがつてゐる、左の部屋は六疊、右の部屋は八疊、この八疊の部屋こそ溥一家の寢起きの部屋である、その中央を荒板で仕切つてそこに溥祥氏未亡人溥孟氏(五)と實子、恒義(三)恒良(一九)の二夫婦等五名が雜居してゐる、その左六疊部屋には溥孟氏がその大恩人として苦節をともにして來た日本人平幸治郎、和田武雄、寢占明行、田淵武雄の

＝四氏＝が雜居してゐる、恒義、恒良の二氏は流石争はれぬ血すぢだけに貧しき身なりのうちにもきりりとした氣品を示してゐる、老の身にも包みきれぬ喜びを湛へて未亡人溥孟氏は往訪の記者に次の如く語つた

……◇……

清朝が亡びて民國にかわつてからは私ども王族一派は實は苦しい生活を送つて來ました、頼りと思ふ溥祥は間もなく民國十五年に六十二歳で病歿し、愈々私どもの生活は窮乏に陷つて行きました、たまたま當時溥祥が生存中奉天省内に多くの自領が殘されてあることを聞いてゐたのを想ひ出し、その

＝財産＝がなんとかならないものかと思ひ、民國十七年の二月北京の住家を棄て、はるばる山海關の現地にわたつて參りました、そして土地の庄屋を訪れ色々と交渉の結果、自分の土地であることがいよいよ判つたのでやつとそこに腰をすえ、僅かながらも徴税を始めてそれによつて細々の生活を續けました、何分女手のことゝて兎角思ふやうに行かず種々苦勞をしましたがそれでも土地の善良の人は昔の恩に感じて僅かづつでも年貢をおさめて呉れたのでどうやらこうした生活のうちに十八年を過ごして來ました

……◇……

ところが民國の二十年になつて苛酷な學良の政策が遂に私どもの

＝生活＝の上に襲ひかゝつて來ましたそれが爲め有識階級のものどもは溥公府の土地を横領しようと企みまた一般部落民も婦人だといふのにつけ込み年貢の差出しを澁るやうになり、次第に年貢の取立ては少くなつて來ました、それだけで自分の土地を確保して置かなくてはと思つて興城縣廳に申告しましたが官吏は學良の魔手と買收にすつかり手なづけられ私どもの云ふことを一向とり合つて呉れずそうこうしてゐるうちに遂に私どもの土地からは少しの年貢も取り立てることも出來なくなつて了ひ再び私どもは喰ふや喰はずの生活に追ひつめられてしまつたのですしかし幸ひにもその生活を見るに見兼ねて

＝知人＝の金輔臣が私ども一家をその家に引とつて何くれと世話をして呉るやうになりました、金は實に私どもの苦衷をよく察して總ゆる便宜を與へ自分も貧しいのでたつた一枚の布團にとも にくるまつて寢かせて呉たほどでした

……◇……

そうこうして丁度今年の三月のことでした、たまたま金の知人の平幸治郎、和田武雄さいふ二人の日本人と知り合ひになりました、つき合つてゐるうちに此二人は實に氣心の良い義侠と人義に富んだ人であることが判つたので、此の二人に何も彼も話して自分の身分も財産もおまかせするやうになりました、この人達は矢張り

＝餘裕＝はなかつたけれどその諸雜收のうちから私どもの日用品やらその他萬事の世話をはかつて全く親身も及ばぬ心盡しでしたまたそれと同時に今一度自分達の土地がなんとかならぬものかと相談してその僅かな生活費をさいてこの二人は非常な危險にも拘らず現地の調査にも再三出掛けて呉れました、しかしこの仕事はなかなか簡單に行かないことを知つて更に兩人の知人に相談すべく四月十四日皆んなつれ立つて奉天にやつて來ました

……◇……

そして平氏から寢占明行、田淵武雄といふ人に話し込み力を合せて仕事をすることになり皆から金を集めて現在のこの家を借り受けることになつたのです

＝奉天＝における生活の第一歩がこうして始まつたのですが皆金を持たない人達許りなのでその生活の困難は並大抵ではありません、遂には總てのものを質屋に持ち込みまた空瓶、鍋、釜などまで賣り拂つてその日の生活を續けて來ました、またこの間何時の間にか暴戾なる學良がその勢力を失つて新しい政府が出來上つたといふことを知つたので、苦しい生活のうちにもやつと少しばかりの金を苦面して山海關の舊地を調査したところどうやら取戻せそうな氣配が見えたので私は去る九月四日平、寢占の兩氏と共に山海關に出掛け農民に掛け合つてヤツト八百六十餘元の

＝年貢＝を取り立てることが出來ました、しかしこれは旅費その他でまたゝく間に消えてしまひましたがこれに力を得て九月十二日一應奉天に歸つて來ました

……◇……

その頃は既に親族の溥儀氏が滿洲國の元首に就任したことは知つてゐましたが何分現在のこの身分ではあり名乘り出るのもどうかと控へて居りましたが、かやうに自分の土地もどうやら確實なものとなつたので遂ひ面會しようかとの氣持ちになりそこでかれてこの四月此方へ來る時車中で平氏が知り合ひになつた中谷せいといふ方にお金も拜借したこともあり色々お世話になつたのでこの人を介して去る二十四日溥儀執政に御面會したやうな譯です

……◇……

＝執政＝のお言葉では近く子供二人だけは引きとつて教育して下さるとのことでしたから私は新政府のお力で興城、連山、中の舊地を回復して戴きこれによつて生活して行きたいと思つて居ります

滿洲里の邦人婦女子百廿名露領へ引揚げ

二十九日午後八時に

【ハルビン特電三十日發】曩に山崎領事が提出した名簿により滿洲里居留民中婦女子百二十名は廿九日午後八時露領に引揚げた

其他の邦人救出に最後の膝詰め談判

婦女子は浦鹽經由歸國

【ハルビン特電三十日發】滿洲里に監禁以來三十三日目で漸く救出された婦女子百二十名は差當りマツイエフスカヤ驛に收容し成るべく速かに浦鹽經由歸國の手配するやうソウエートに依頼したが、その他の邦人救出については十一月五、六日頃小松原特務機關長以下關東軍代表者が旅客機で乘込み最後の交渉をなすことゝなつた、一行はマツイエフスカヤ飛行場に一旦着陸、蘇炳文を滿洲里に呼出し膝詰め談判をなす段取りだがスラウソキ總領事は二十九日特務機關の訪問總領着陸に異議なき旨述べた一層邦人救出に協力する旨傳へた右交渉においては滿洲里、海拉爾その他の邦人全部の釋放を要求する筈

張作霖御難

奉天瀋海線驛前の廣場に立つてゐる張作霖の大禮服姿の銅像のサーベルや勳章等の部分が何者にかもぎとられてゐるのを最近發見された、多分泥棒の地金取りの仕業であらう、同銅像は今から六年前張作霖の山海關地方の饑饉救濟の御禮として同地方民が建立したものである【奉天電話】

箱根、生駒に空の燈臺

近く完成

【東京三十日發】去る十月二日南遞相が臨席して地鎭祭を行つた箱根燈臺は早くも鐵塔工事を終へ來月十日頃までには送電線、燈器据附を終り一切の工事を終へ近く空の燈臺が出現する、なほ生駒山の燈臺も箱根と同時に完成を見る筈で更に八重津(靜岡)常辻(愛知)二個所は來年五月起工する事になつた

戰死者記念碑に全權の默禮

移駐車中の武藤全權

全權一行の特別列車には最前部の車に約三十名のタイピストが乘込み、次は軍司令部附軍屬の一行、第三番目の車輛には軍司令部首腦者、その次に小磯參謀長、岡村同副長と武藤全權が乘り三十日午後二時九分

新京に着したが全權はじめ幕僚は汽車が范家屯近く維家屯に近づきたるところ栗崎中尉外三名が匪賊討伐に向つた際同地にて敵匪のために戰死したのを三十日滿洲國側で記念碑を作りその除幕式を擧行せる日とて何れも車中から英靈に默禮した、特に全權と小磯參謀長、岡村同次長は非常に緊張せる面持で全權新京入りの今日この式を遙かに偲み感慨の深きものがあつた、一行の特別車は

奉天を立ち鐵嶺、昌圖、公主嶺の三驛で停車したほか一路新京に向つたが全權以下幕僚は各驛に下車いちいち驛手の挨拶をした、飯島四平街、中村公主嶺の各署長は新京まで警戒隨行した【新京電話】

滿蒙資源館

愈よ來月廿日開館式

【東京特電二十八日發】後藤新平伯の遺志に基き、東京日比谷の市政會館に開設を急いでゐた滿蒙資源館は陸軍省の骨折りで拓務、農林、遞信、文部省、三井、三菱、大倉、滿鐵等の協力を求め、最近資料も大體集まつたので、十一月五日開館式を擧行する豫定になつてゐた、ところが秋期大演習の爲め當日肝腎の荒木陸相や永井拓相などが陛下に供奉して不在となるので已むなく延期して十一月二十日、大臣、陸相、永井拓相等の滿蒙資源開發に關する講演を請ひ、これを全國及び滿洲にも中繼放送する手筈になつてゐる、この滿蒙資源館はやがて拓殖博物館となるべき滿蒙に關する最近の資料を各方面より廣く蒐集したもので、一目で滿蒙に關するあらゆる知識を參觀者に與へやうとするのが目的である、右につき建設委員長陸軍政務次官土岐子爵に代り小林少佐は語る

この資源館は一般の寄附行爲によつて出來たもので滿鐵を始め三井、三菱、大倉等滿洲に關係ある資本家には相當厄介をかけました、又拓務省その他關係各省の方々にも協力を求め漸く準備が出來た譯です、出品物については匪賊横行の折柄にも拘らず關東軍の援助の下に滿鐵の方々が危險を冒して滿洲の奧地や蒙古等から貴重な資料を送つて下さつた事は當事者として實に衷心より感謝するところであります

豆腐屋殺し犯人取調べ進む

犯人と定子との關係

旅順豆腐屋夫婦射殺犯人須堯兵曹に對する旅順憲兵分隊の取調べは引續き續行され二十九日には本人に對する取調べも殆ど終了三十日は日曜日にも拘らず各關係者の取調べを行つた、犯行の程度は未だ公表を許されないが

大體において本紙既報の如く金の問題、證書書き入れ、定子との情事關係は全然虚傳であつたことが判明した、須堯兵曹が松方へ出入したのは本年夏頃一回と今回の犯行當夜一回都合二回で定子との知り合ひ動機は本年八月頃須堯が着任後間もなく定子の學級生徒が郵便局附近にて鰯生中懇意となり爾來會見したことがあり一度西本願寺下の海岸に於て須堯から定子に對し言ひ寄つたことがあつたが拒絶されそれ以來

黄金臺海水浴場にも共に散歩などしたことがあろうちキッスをする迄となつたので犯行當夜その場で自殺すべく拳銃の引金を引いた處不發であつたため果樹園に逃げ込んだもので寒氣と饑餓の爲め二十八日日沒を俟つて町に出て來たのであつた、當時拳銃裝塡の際一發は何處へか落したことが事實らしく拳銃のサックは今猶所在不明である、尚又入院中の定子は經過頗る良好で三十日の如きは起床して

須堯さんは何んの爲め妾しを殺さうとしたんでせう不思議でならない……

と語つてゐた

教員養成所新設

關東廳側の意向

實限に力瘤を入れる

關東廳滿鐵合同の小學校教員養成所新設の議は一に關東廳側の豫算關係如何にて確定の模樣であるが學務當局としては是非滿洲の教育體系統制上實現せしむべく三十日歸任の西山財務部長と談合の筈でその内容は大體左の通りであると

一、教員養成所は在奉天の教專附屬養成所をその儘これに充當すること

二、關東廳からは委託生の形式で年五十名を該養成所に派遣教育す

三、右に要する豫算年額約四萬圓の見込

因に滿鐵附屬地内の滿洲國人教育機關は滿洲國文教部内の組織完成と共にこれに引繼ぐは双方の爲め時宜に適したるものと關東廳では認めてゐる

日豊線汽車時間改正

【門司特電三十日發】十二月六日のを佐伯發列車を準急とし門司に一時十五分着とし大連及び基隆行きの船にゆつくり間にあはせて接續させるやうに便利になる筈

東支の減俸

來月から一齊に一割

東支鐵道管理局ではソウエート政府よりの訓令に基き十一月一日より全從業員に對し一割減俸を斷行することになり在奉天東支鐵道商業代理部にもこの旨通報があつた尚これと同時に從來特別支給してゐた宿舍料も同樣一割引下となつたがこの宿舍料は一九三三年度より全廢されると【奉天電話】

滿洲美術展

素晴しい入場者

第二回滿洲美術展覽會は二十七日開會以來、觀覽者殺到の大盛況であるがわけて三十日の日曜日は……十時既に二千名突破し午後四時五千名といふレコードを作り沿線各地からの來觀者も多かつた特に發送の手違ひから遲着してゐた長春發送作品十一點も漸く陳列したが會期は本三十一日限りである

田中清純氏斑禪喇嘛と會見

【北平二十九日發】殷祝瑞た會長とする中日佛教研究會總裁高野山管長龍池大僧正の代理として派遣された、田中清純師は二十九日正午雍和宮殿内で斑禪喇嘛と會見宗教上の日支提携に就き重要意見の交換を爲した、この際斑禪喇嘛は佛教と喇嘛教の因縁關係を知り今後は特に日滿蒙三省の宗教連絡に努力する旨を誓つた

奉天滿鐵社員倶樂部復活

久しく滿鐵經濟調査會のため占領され使用不可能となつてゐた奉天萩町七番地の滿鐵社員倶樂部は今回右調査會が大連に引揚げたので倶樂部は元通り復活し一日から同所に撞球部をも新設開始することになつたがこれがため奉天事務所地方課社會係では十五六歳位のゲーム取の美人を募集してゐる【奉天電話】

店先で失敬

三十日午前十時三十分ごろ市内信濃町公設市場内、滿新洋行へ二十歳前後の洋裝婦人が訪れ贈答用の鮫の子一箱注文したので店員が倉庫へ折箱を取りに行つて歸ると洋裝婦人は「都合でいりません」と注文を斷つて立ち去つたが後で手提金庫を見ると在庫の四圓餘りが空ツぽになつたのを發見、大連署へ届出た

皇姑屯移管

皇姑屯は奉天市より瀋陽縣管轄に移管される事となり二十九日縣公署に事務移管を終了した【奉天電話】

モスクワ郊外で急行列車大衝突

【ロンドン二十九日發】去る十月十六日モスクワ郊外で急行列車の大衝突事件があり死者實に九十名負傷者無慮三百名を出したがソヴエット當局の禁止令により今日まで此の衝突事件が世上に行はれなかつた事實がこの程漸く判明した今までのところ本件に關するロシア側の報道は單に事件の内容を仄めかす位の程度に過ぎない

世界最大汽船進水

【サン、ナゼイル二十九日發】世界最大の汽船ノルマンデイー號は本日當港で進水式を擧行した、同船は七萬三千噸、三十節以上の速力の優秀船で建造費七億五千萬法である

ばいかる丸船客

【門司特電三十日發】十一月一日大連入港豫定のばいかる丸の主なる船客左の如し

澤山市松、二島君次、松井新吾、谷口英次郎、桝田憲三、小川亮一、小澤清藏、片桐龍一、錫井勇三、諸澤安治

安樂椅子

評判倒れになりさうで心配な滿鐵市議候補連直塚、菅原、一宮諸氏の現場關係もさることながら西田、松浦山口千種の本社候補は殊のほかの狼狽振で殊に評判第一の松浦候補殿下で人にさへ會へば、おい、新聞は酷いぞ、全然事實無根ですばい、大苦戰ちうのが本當ですたい、お蔭で形勢は惡化したゾと辯明これ努めてゐる

……◇……

次に山口十助候補は鐵道部の重要問題で奉天に詰め切り到頭今月中には歸れさうもなく、千種候補は廿九日に病氣漸く癒えて出社した狀態で兩選擧委員長共合掌しながら「こればかりは評判の惡いのが好い」

滿日各地版

東都大會に呼應し 全滿鄕軍愛國運動
大石橋では三日總會

【大石橋】當地在鄕軍人分會評議員分會長山下義明以下十五名は評議員會を開催左記之通り議決午後三時散會した

今回帝國在鄕軍人聯合會滿洲支部長よりの通牒に依れば來る二十八日東京日比谷公園に於て帝國在鄕軍人三百萬代表者の總會を開催し「リットン」調査委員長の調査報告書に對する反駁辯論大會を行ひ以て我在鄕軍人一團となり輿論を喚起し來るべき聯盟總會に統一せる斷乎たる意氣を示すため宣言及決議文を作成し各關係要路及我が代表者に打電せるに付き我が滿洲聯合會支部にても之れが後援すべく全滿各地方會に於ては來月十日迄に右趣旨に基き臨時總會を開催する事となれり、故に當地においては十一月三日の明治節を卜し總會を開催し宣言及び決議文を作成し前述の如く各要路に打電し以て聯盟總會における帝國の立場を闡明してその効果を納めしめんとす

奉天鄕軍分會

【奉天】來る十一月三日の明治節を卜し在鄕軍人滿鐵分會にては第三回總會を彌生小學校講堂において開催し正午から二時まで武道試合、二時半より總會、開會の辭に君ケ代二唱、勅諭、勅語の捧讀、分會長の挨拶、會務報告、分會長の訓示、支部長の訓示、來賓の祝辭、三谷滿鐵警務課長の講演あり祝宴の後萬歳を三唱して散會すると

揭示板をみて 泣く小學生
「出動の子へ母の手紙」

【大石橋】時事新報社が全國小學校に募つた作文「國旗」に應募し見事入選の榮譽を克ち得た同校五年生芦田照子嬢並に學校當局各先生に喜びを齎して學校を訪問した、が校庭中央揭示板の記事に見入り五六年位の女兒六七名續りに淚を流してゐた、滿石軍國子弟の敎育に携はる敎育者の不斷の努力が窺はれる此の母にして此の子あり、これは先頃北滿の匪賊討伐で名譽の戰死を遂げた我が吉井田上等兵の遺品の中から出た母からの手紙である、黃海の大海戰「永兵の母」を忍ばせるものがある

拜啓其の後御變り無く無事軍務に御勉勵の由何よりも目出度く存じます。私始め子供も皆無事に暮して居ります、お前達が出動以來毎日の如く新聞では見て居るが詳しい事は分らず戰死者の姓名は書いてありましたがお前の名はまだ出て居らず母は毎日神樣に日本軍人の武運長久を御祈りしてゐます、今日迄無事軍務に服してゐるとの事今後も尚ほ一層軍人として重大なる任務を全うし決して人におくれを取るな、人は死しても名を殘す、母は覺悟をしてゐます、軍人として現役中に國難にあたるは何よりの幸福である、命のある限り力の續く限り大いに奮鬪して天つ晴れ軍人の本分を汚さず父の子として最後迄大元氣で奮鬪あらん事を呉れ呉れも御願ひ申します、軍人として戰線に立つ事は何よりの名譽母は肩身が廣い滿洲事變上海事件の時は未だ初年兵で戰線に出られぬのが母は肩身が狹かつた、大いにやれ、運は天にまかせよ、倒れても淚を流すなこの意氣北の覺悟でしつかりや

佐藤軍曹の遺骸 淋しく原隊歸還
三日撫順にて葬儀

【撫順】去る九月十日大東州南方地區に於て數百の匪賊團と出合し包圍攻擊を受けて遂に身に數彈を受け名譽の戰死を遂げた撫順守備隊斥候隊長故佐藤騎兵軍曹の遺骸收容に就ては二十五日以來川上隊長以下匪賊討伐をかねて現地に進擊し二十八日救兵臺において漸く今は護國の鬼と化した故軍曹の亡き骸を取返すことが出來た、淸水軍曹以下十一名の戰友に護られ遺骸は同日正午救兵臺發同夜午十一時半五十日振りに淋しく原に歸り營内において出迎への市有志參列の下に讀經があげられと直に荼毘に附され二十九日轉上げを終つたが葬儀は出動中の上隊長以下隊員の歸營を待つて十一月三日以後執行の筈である

營蓋鹽の出廻に 大平山驛の活況
毎日約八十噸を輸送

【大石橋】當地大平山驛を中心とする營蓋鹽田渤海灣に臨む蓋旗鹽田黃旗鹽地區方面に於ける製鹽業は年產額四萬噸に及び地方產業中最も見るべきものであるが目下其の輸出期に入り一日四十數臺の馬車を以て大平山驛に運搬し毎日平均八十噸と大石橋以北の滿鐵沿線各地に輸送しつゝあり同驛々員は之れが取扱ひに忙殺され荷馬車集まる午後三時頃からは全く偉觀を呈してゐる、谷本驛長を驛に訪れると緊張した氏獨得の顏を綻ばして語る

撫順事件映畫化
先づ警察の活動撮影

北邊奸等の暴虐ぶり

安東郵便局

奉山沿線での雜貨取引旺盛

旅順市廳舍 きのふ地鎭祭

新京の賣出し

前途

金策

飛行機に獻金

旅順放送

沿線往來

北滿の反將 蘇炳文の横顏 (中)
齊々哈爾支局 村井脩

安東地方事務所 八年度施設

【安東】安東地方事務所經理係ではかねて昭和八年度實行豫算について編成中であつたが、此の程完了と共に本社に申請中のところいよいよ二十七日承認されたその主なるものは下六道溝の糞尿處分所の近代科學に依る處分方法、安東普通學校の增築、鳳凰城普通學校の新設、道路側溝の改修その他で先づ糞尿處分所より着手されるものと見られてゐる

巡回汽車博 明春に延期

れ、母は賴む、留守宅の事は少しも心配せず只々國家の御奉公第一に皇軍の武運長久を神に御願ひしてゐる、益々御奮鬪あらん事を御祈りしてゐます

七太男殿　母より

不幸な老母に 恩賜救療
安東で最初の適用

【安東】安東縣二番通七丁目四番地居住（本籍長崎市江戶町十三番地）の日高シマ（七）は長らく心臟を患ひその日の生活も近隣の人々の情により漸く糊口をしのいでゐるが、同老女の養女山口トキヨ（二）は昨年來安東に滯在してゐた保險勸誘員石田某と通じ手に手を取つて朝鮮龍山へ駈落ちし病床にある養母を見すてた爲め安東署では本年九月中旬龍山署を通じ養母の

稼業を嫌つて 藝妓の自殺
仕損ねて連れ戻さる

東鄕少佐挨拶
豆腐屋殺しで

【旅順】旅順海軍無線電信所東鄕少佐は今回の部下須藤兵曹殺人事件に關し海軍部隊の手に依つて逮捕したと共に本紙を通じ誠に皆樣をお騷がせして申譯がありません、せめても海軍の手で逮捕した上は市民各位もどうか御安心を願ひ度いと挨拶する處があつた

輸入を賴みとして居る有樣であつた所を斷く遮斷さるゝに至つたので物資全く缺乏し區民が困窮するだけでなく匪賊自身等も木の葉をくすべて煙草の代りとなすと云ふ窮境に陷り農民は暴動化し匪賊等は苦しまぎれに如何なる犧牲をも拂つて第六區管内に侵入し物資を

得べく堅き決心のもとに移動して居る模樣で第六區管内自衞團合同は必死の警防に努めてゐると

李子元歸順か

海と空と (13)
高杉晋一郎作 橋本淸史畫

虛無 (三)

土屋に呼ばれた襄は、不興氣な顏を振つて友の顏を見た。別に驚いた風もなく煩さゝうに云つた「うむ、土屋か」

餘りの懷しさに胸を高めてさゐた土屋は、此の襄の調子にぶつかつて、すうつと表情を冷たくした。まだ人々の視線が襄へ集中してゐる時でもあつたので、土屋はそのまゝ吐きたい言葉を控へた

保險契約者の 利益增進

愛國讀本

新刊紹介

婦女界 (十一月號)

中央公論の別冊附錄

花の東京

大連 JQAK

東京 JOAK

ベースボール

寢る前に 齒を磨け
ライオン齒磨の書方懸賞

滿洲日報

十月三十日發行

發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

我全權部と軍司令部 けふ新京に移駐

武藤全權も早朝出發

三十日は奉天に於ける軍司令部の最後の日だ、昨年の九月十九日地東軍司令部が旅順から奉天に移駐してから正に一年と一ケ月有餘である、その短い期間に國際政局に響く奉天の名の如何に鮮かに輝かしいものであつたかを奉天人は今更ながら切實に考へざるを得ない、然しその誇りもけふ一日限りだ、早曉いまだ明けやらぬ奉天の町を警備のオートバイが縱橫に飛ぶ、午前七時大廣場東拓ビルの正面に掲げられた「關東軍司令部」と「日本帝國特派全權部」の二つの看板は靜かにおろされた、宿舍を引揚つて奉天に於ける最後の日をヤマトホテルに送つた武藤軍司令官は七時五十分幕僚を從へてホテルを出で驛に向ふ、町々は國旗を掲げて高らかに軍司令部の引揚の進行を祝福してゐる、沿道には小中學生、女學生や市民が堵列し萬歲を叫ぶ、驛の內外は嚴重に警戒され第三ホームには見送りの日滿官民で一杯だ、その前を武藤全權は靜かに會釋しつゝ特別列車の中央部の一等寢臺車に乘込む、八時十分高らかい汽笛が鳴る、莊重な音樂が起る、怒濤の如き武藤軍司令官萬歲々々の聲に送られて特別列車は先驅列車と飛行機の警備の下に靜かに出發する、武藤軍司令官は靜かに擧手の禮を送る、かくて我等の軍司令部と全權部は奉天を去つて新京に移たのである【奉天電話】

日滿國交愈々緊密に

全權部は大使館に變る

二十九日午後三時九分歸奉した武藤全權は市民代表その他各機關代表者より離奉の挨拶を受けヤマトホテルに一泊、三十日午前八時十分新京に移駐、全權部軍司令部は共に移駐したが新京移駐と共に直に全權部は大使館となり全權が大使として駐劄仰せつけられ日滿今後の連絡は一層緊密となるべく一年一ケ月餘の軍司令部の移動にその間軍としては

多大 の功績を全滿に殘した

今後は王道樂土の建設さる滿洲國を飽く迄支援し鞏固なる國家の養成に全力を拂ふこととなつた、尙全權官舍は旅團長の室を小磯參謀長には旅團副官の室をあてることとなつた、なほ滿洲事變關東軍司令部將兵に對し日本全國から全國民七千萬の總動員となつて本庄前軍司令官を始め武藤軍司令官ほか關東軍將兵に國家安泰、武運長久、身體健康、護國のためにと祈願をこめた長くも天照皇大神から嚴島、熱田、琴平はじめ日本津々浦々の八百萬の神々の集合祈願や護り札に日蓮、眞宗、禪宗、眞言等の佛……天理教、大本教等々の祈願文が送られて來てゐるが

積り 積つて千餘に達し軍司令官の室內に特別安置するお宮さんを設けられてあつたが此神々の念をこめ武藤司令官の朝夕祈願の宮……移駐にこのお宮さんも修護札と共に新京に送られた、修護札中に三尺有餘のもの多數あり國民赤誠の字句が何れも素朴に現はれて自から敬虔の念に打たる【奉天電話】

感激の眞ッ只なか 全權新京入り

驛頭に起る萬歲の嵐

十月三十日、初冬の新京の空は隈なくからりと晴れ少し強くはあるが折からの西風に家々に飜へる日の丸の旗も今日を晴れとひらくと舞ひこんもりとした樹々の間からは遲れた紅葉がはらくと道路に落ちる武藤全權の

晴れ の新京入りを迎へた新京は凡てをあげてこれを祝福してゐる、二三の歡迎飛行機は胡蝶の如く空を飛び廻つてゐる日滿兩國の完全なる提携は成立した、そして轟々たる世界の視野の中に東洋の一角より平和の樂土郷を目標とした兩國の熱烈なる希望が滿洲國成立と同時に彌が上にも高潮し三千萬滿洲國民衆と八千萬の同胞が手に手をとりあひ相助け相讓つて我等の理想境に邁進しつゝある今日新滿洲國の

首都 新京は日本全國の信賴を一身に集めた武藤全權の來京を迎へる今日、晴れの十月三十日驛前の廣場は立錐の餘地なきまで……

に人の群で埋まる、全新京の日滿學生日滿全市民兩國の榮え行く將來を表徵したかのやうに手に手に日滿兩國旗を握り緊し群さ群足さ足踏ゐがまゝに瑞雲は新京の空にみなぎりわたつてゐる、驛プラットホームには滿洲國大官要人綺羅星の如く打並び同列車到着を待ちあぐんでゐる、執政代理鄭國務總理、筑紫參議、駒井參議をはじめ各部總長の顏觸れそれに日本側よりは田中副領事、高山署長在京軍部將校、在鄕軍人代表、海友會代表、滿鐵地方團體代表等

完全 なる人の渦をつくつてゐる

高木憲兵分隊長の指揮する憲兵の右往左往血ばしつた眼は蟻の子一匹も見逃さない程の嚴戒振りだ、定刻二時十分先驅車の全權乘車の臨時特別列車は滑るが如く新京驛に綏進ピタリと止まる、凜々しい軍服に身を固めた武藤全權の姿が出迎への人々の視野の中に現はれた、全權は高澤驛長小山憲兵佐の先導で驛貴賓室に入り出迎への各團體代表より

挨拶 を受けた後驛正面玄關に姿を表した

出迎の群衆からは天地も崩れんばかりの萬歲の聲がどつと起り全權は擧手の禮をもつて答へ乍ら自動車に乘り込む美々しく着飾つた滿洲國軍樂隊の奏樂の中にしづくと萬歲の渦まきに惑謝の答禮を送りながら臨時的官邸さして充當された舊旅團長官舍に向つた

かくして武藤全權以下全權部員及び關東軍司令部其他附屬機關は

完全 に我等の新京のものとなつて日滿親善のため東洋平和のため百年の基礎を作ることゝなつた【新京電話】

護國共濟會發會式　全國民の融通調和の舉國的共濟主義によつて入營兵士の留守家庭の後顧の憂ひなからしめるやうとの趣旨から嘉納治五郞氏を創立委員長として結成を急いでゐた護國共濟會ではこの程會長に近衞文麿公、嘉納治五郞氏等更に評議員に政界、實業界、學界等各方面の名士を網羅して成り二十七日午前十一時から九段偕行社に盛大なる發會式を擧げた（寫眞は德川會長の挨拶）

五百萬圓の分だけ 取敢ず詮議に決定

對滿低資融通問題で上京中の 西山財務部長歸任談

滿洲低利資金問題について上京中であつた關東廳財務部長西山左內前大連商議副會頭田村羊三の兩氏は相伴れて三十日入港のうすりい丸で歸連したが西山部長は本問題につき談話の形式で左の如く發表した

滿洲に對する低利資金問題は數年來叫ばれてゐたことであつて在滿各地商工會議所をはじめ一般商工業者からもしばく當局へ申出があり關東廳においても其必要を認めて種々對策を講究しもましたが內地等の如くつさに……

借受の資格を有する府縣、市町村若くは公共的の諸組合團體のやうなものが殆んどないためにこの問題が實現されなかつたのであります

然るに 今回は時局柄さいふ意味において全滿の輿論も喧ましくなり急にこれが具體化して參つたやうなわけで先に丁度上京中の奉天商議會頭庵谷氏に運動を依囑しなほこれに引つゞき當時の大連商議副會頭田村氏の上京となり政府要路に對し長期問題に熱心な運動をつゞけられたのであります、關東廳においても武藤長官はじめ……

このことであります、然しこの資金繰の問題は近く解決されるこさになつてゐるのでその結果次に開會される預金部運用委員會で滿洲からの要求額中金融組合および輸入組合に對する五百萬圓の分について取敢ず詮議するさいふ大藏省の承諾を得たわけであります

これが 實現すれば假令五百萬圓の金額に多少の査定を加へられるやうなことがあつたにせよ兎に角在滿中小商工業者に對して或程度のうるおひさもなりまた一面においては現在一般に要望してゐる低金利さいふ問題にも何程かでも貢獻をなすさころがあるものと信じます、それで預金部より貸出の金利は三分五厘、期間は廿年で据置五年、償還十五年さいふことになるさ思ひます、要するに本件については

に努力せられた結果であつてこの點に對しては深く感謝してゐるさ同時に他面において着任匆々の武藤長官が熱心に本問題解決のために吾々を指導して下さつたことは忘れてはならないさ思ひます、なほ滿洲から今回要求した

金額は 總額二千萬圓で以上の五百萬圓を除いた殘金の一千五百萬圓は不動產に對する融資でありますがこれについても前記金融組合、および輸入組合資金と同時に是非解決したいさ思つて田村氏さ共に極力事に當りましたが遺憾ながら手續上の事柄で少しく遲れることになりました、而してこの不動產融資については滿洲も內地および朝鮮臺灣等さ同じく不動產融資、動產融資、および補償に關する法規を制定しかつ豫算外國庫の負擔さなる契約につき次の議會において協贊を得たろうへ詮議さるゝことに大藏省および拓務省の內承諾を得ましたから關東廳においては何れ長官の指揮を仰ひでこの目的に向つて極力善處したいさ考へてゐる次第であります

今度も努力

田村羊三氏談

西山財務部長と同船卅日入港のうすりい丸で歸連した豆信專務田村羊三氏は語る

低利資金問題は西山部長の言はれた通りだが兎に角今度の臨時議會で仙波君が出した本問題の請願が採擇されこゝに一つの言質をさることが出來たことは成功だつた、そしてこのためには門田、野田兩代議士や大藏公望男等が影になつて隨分努力して下さつたことは非常なものだ、また自分達が武藤長官の名において行くことが出來たことは非常な強味で長官も非常に盡刀されて極めて有利に解決することが出來た、大體手形だけは取つた形でもう大丈夫さは思ふが現金を握るまでは安心が出來ぬから今度の議會での關東廳の活動を極力應援するため全滿的に輿論を興し、今後共活動をつゞけることが何より必要だ、日滿統制經濟問題についても色々話し合つて來たがいづれ考を纏めてから發表する

滿鐵の人事異動は 極めて小範圍

中心は總務部(次)長だけ

滿鐵の職制改正は二十七日の定例重役會議で本極りを見、關東廳および拓務省の認可を經て十一月上旬に發表を見る豫定であるが、これに基く人事異動も同時に發表を見る筈である、しかして職制改正そのものが極めて小規模で、事業部（又は興業部）が

新設 されるも單に技術局の名稱が改稱されたに過ぎず、監理部と奉天事務所が消失するも、前者はそのまゝ總務部へ、後者は地方事務所、鐵道事務所、商事部および新京支社へ轉出するだけであり、全體として何ら實質的變化を見ないので、人事異動も從つて殆どなきもの、ごとくである、これがため從來の職制改正の例に徵すれば、改制案の決定と同時に人事課が活動を開始するのであるが今年は鳴りを潛めて傍觀して居る有樣である、たゞ總務部は山崎次長の理事昇格の後任が缺員となつてゐるのでその選任と共に多少の

異動 あるものと見られてゐるが、もし噂へられるごとく石本憲治氏が奉天事務所次長より轉すれば他に波動を及ぼすことなからう、しかし同氏は坐骨神經痛が相當重く二箇月の休暇をとつてゐる位だから滿鐵社內で激務中の激務といはれる總務部次長（社長部長制實現すれば總務部長）の職に直に堪え得るや否や疑問とされ、その際は中西文書課長がこの榮職に昇進し、その後任には土肥人事課長もしくは部外より選任を見るに非ずやといはれてゐる、新京支社（又は出張所）は部相當個所として相當

陣容 が整へられるが、奉天事務所のごとく鐵道事務所および地方事務所を包括しないことになつてゐるから餘り多くの社員を擁することにはなるまい、又社員部長制が實現するも新京及び東京には理事が駐在する關係上、右駐在理事が支社長事務取扱ひとなり從つて社員支社長を置くことなしと豫想されてゐる、最も多くの變動のあるのは鐵道部だが、大部分は榮進で從來部制もしくは請任で久しく昇進が遲れがちであつた同部の中堅どころが今度は一齊に轡を並べて課長となるべく、今度の改制で最も有卦に入るは同部である

編成 されたゞけに人事もかく職制そのものが「必要なる最少限度」を根本方針として從つて最少限度に留められ且つ昇進こそあれ淘汰は全然ないといふ職制改正の記錄破りが始めて實現することゝなつた

日銀、滿洲國の 金融調査

新木主事を特派

【東京三十日發】滿洲中央銀行副總裁山成喬六氏及び滿洲國財政部總務司長星野直樹氏は二十九日午後日銀當局を訪問滿洲國の財政並に金融の實情を報告說明したが日銀としては日滿兩國經濟發展上兩國の緊密なる金融提携をなす必要上滿洲國の金融事情を調査することゝなり同行考查課主事新木榮吉氏を滿洲に特派するに決定來月早々出發の筈

時節がら責任の 重大を痛感

廣田公使慌しく歸る

さきに滿洲における近狀視察のため郵船總出來滿中であつたスペイン公使太田爲吉氏は今回新たに駐露大使に榮轉を見ることゝなりその旨新京において內命を受けたので豫定を繰上げ急いで三十日出帆の香港丸で歸京の途についた、日滿議定書不可侵條約の云々さるゝ今日ソ聯邦の滿洲國承認に對する態度好轉の

この際 更に滿洲里事件處置等々日滿露のデリケートな關係にたちいたつた今日同公使の雙肩にはその責務の重大を思はすものがあるが出發に先だちあわたゞしいうちを左の如く語る

白紙だ、白紙だ、それに色々つけたがるのは君達なんだ、六月にスペインから歸つた、滿洲の事情を見ておくことの必要に迫られてやつて來たんだ、何だがロシヤ行になりそうだが、不可侵條約なんてことについてはまだ全然考へてゐない、いづれ歸京の上中央の指示によつて動くのだ、只時局柄責任の重大なことを痛感してゐる、廣田前大使には滿洲に渡る前にお會ひして色々あちらの事情をお聞きしたりした、滿洲里事件は仲々

接觸が やゝこしいよ、何しロシヤに行くて、さあ歸つて見なくては判らぬがなるべく早い方が好い、十一月の終りか十二月になるだらう、ロシアは自分にとつて全然知らない土地である、この際日紙さ云ふよりお話のしようがない

かくて見送りの知名士とシャンパンの杯をあげ離滿した【寫眞は船中の太田公使】

遞信局豫算等に 出來る限り善處

西山部長豫算を語る

三十日入港のうすりい丸で歸連した西山關東廳財務部長は語る

關東廳の昭和八年度豫算は自分の上京前に大體の方針を授け長官にも申し上げ、松崎經理課長とも打合を遂げ方針を協議しておいたので自分の不在中に松崎課長が大體取纏めてゐる筈であるから早速それを纏め上げ先づ武藤長官さ

打合せ を終つた後に豫算の編成を終へ松崎經理課長をして一足先に上京せしめるやう長官の承諾を得たいと思つてゐる、何分滿洲國さの關係が非常に密接に來てゐるのだし豫算は特に出來る限り力を注ぎたいと思つてゐる、臺灣、朝鮮の特別會計豫算は既に政府に提出すみであるは關東廳だけであり特別會計豫算の審議も十一月十日ごろから始まる豫定だから編成は極力急ぎ松崎課長は十一月十七日から十五日までの間に是非とも東京に着けるやうにしたいと思つてゐる、私は松崎課長より約

一週間 を遲れて上京するだ、豫算額は未だお話し出來ない程度には自分も聞いてゐない關東廳財務部の財務局への說明等は樞密院での說明も終り近く樞府本會議に御諮詢になるやうに聞いてゐる

に關し大連、鞍山、撫順で滿鐵の方にはお話しようさ考へてゐる、特に赤外線寫眞について研究してゐるがこれは測量する場合是非必要で殊に危險な所より測量し地圖を作るにはどうしても必要なものでこの赤外線寫眞は滿洲は將來研究する必要があるさ思ふ、空中撮影には是非なくてはならぬもので軍部邊りでも研究してゐる

理研の櫻井博士來連

理化學研究所においては將來滿洲並に滿洲國政府と提携の上各種研究の交換を行ふことになつたが將來理研では滿洲における發展を計る意味で滿鐵と種々提携することゝなつたがさきに大河內子爵が來滿された時かつその氣運が濃厚になつたものだ、自分は主として寫眞、染料の方を專攻してゐるが今度も寫眞のこと……

井孝雄氏が來滿した、船中語る……十日入港うすりい丸で理學博士……

滿鐵の留學生

今週中に發表

滿鐵の明年度留學社員は各部より推薦終り、目下人事課長が候補者と面接して決定を急ぎつゝあるが、今週中には氏名の發表を見る筈、人員は海外留學七名（多ければ八名）海外給費生一名（多ければ二名）であるが、なほ支部留學は北平四名、上海一名で既に決定を……

蛇角

◇ 共產黨判決は嚴罰主義、國法に正面的態度を採る者の嚴罰已むを得ず、但し防止政策は別に愼重研究を要す。

◇ 日米間の完全な諒解有害、アメリカが率先して反對してゐないのを日本が怪つたからだと。

◇ それでは尻馬に乘つて騷ぐのか尻馬でも容赦は出來ぬ。

◇ 蔣介石、何處くどき落しの爲めに長沙に出かける、何處の不郎不離には將もいつも手古摺つてゐるか。

◇ 聯盟空氣、各國氣迷ひ、此間に於ける英米策動、何事を提起し來るか。

◇ 大公使を外務拔以外から出さうとの試み、相當の難航あるべし。

人事

◀西山左內氏（關東廳財務部長）三十日入港うすりい丸にて歸連
◀田村羊三氏（豆信專務）同上
◀佐藤主誠氏（大連製氷社長）同上
◀貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）同上
◀山田陸穂氏（滿蒙學校長）同上來連
◀利根川久衛氏（陸軍省囑託）同上
◀櫻井秀雄氏（理學博士）同上
◀宮本俊三氏（大倉鑛業社員）同上
◀關山延氏（高砂鐵工專務）同上
◀兒玉國雄氏（淺野物產重役）同上
◀勝木市太郎氏（ドクトル）同上
◀干靜遠氏（協和會總務局長）同上
◀太田爲吉氏（新任ロシヤ大使）三十日出帆香港丸にて歸國
◀小野日憲僧正（日蓮宗管長代理）同上

國際汽船無配　【東京三十日發】國際汽船は廿九日定時總會を開き無配當を可決した

滿蒙の戰慄 (140)

直木三十五作　淺枝次朗畫

再生（四ノ一〇）

「麗」
一人が、叫んで
「來い」
麗が、笑ふと
「君はえらいよ、えらい。乾杯」
と、叫んで、グラスを上げた。行かうとすると
「急ぐな。問夫は、引けすぎだ。こゝへ、座れ」
と、一人が云つて
「君には、敵はん、あつちへ行つてくれ、あはゝゝゝ、萬歲」
「まあ」
「早く、あの隅へ行つてやれ」
麗は、人々から
「凄いぞ」
とか
「女ギャング」
とか、云はれながら、西城の所へ行つた。

西城は、考へてゐたが
「約束、大丈夫」
「大丈夫」
麗は、決心と、情熱とで、うなづいた。そして
（手でも握つてくれたなら、全身の力で、握り返すのに――妾、何んな事さしてゞも、誓つた證據を見せるわ）
と、思つた。
「どつかで、一日か、半日、ゆつくり話する間を――いつでもいゝ作つてくれないか」
「えゝ、こしらへる――でも、妾がきびしいから、半日れ」
「結構」
「きつと作るわ。貴下、いつ、いつの?」
「いつでも」
「日曜?」

「あれは、誰?」
「刑事」
「刑事の、もう一人」
「あれ?――甲手つて、お父さんの親類の方よ」
「あゝ、君ん所にゐる?」
「えゝ」
「そうか」
西城は、解つたらしく、うなづくと
「君のハズかとおもつた」
「まあ」
麗は、そんな冗談を云つてくれるのが、うれしかつた。
「僕、辭む」
「いゝや」
「妾、もう、大丈夫」
「うん」
「何か召上る」
「そうだね」

「日曜なら、最もいゝが――休んだつていゝよ」
「休むのよかないわ」
「そうか。その時に、話しやう。僕は、未だ社に用事があるんだ。君の事が心配だから、一寸、出かけてきたけれど――」
「あら」
麗は、うれしさと、失望とに、ぢつと、西城の顏をみつめてゐた。
「明日又くる」
「さう」
麗は、微にさう云つて、手を、西城の膝の所へふれた。その手は麗の豫期してゐたやうに握りしめられた。麗は、それを握り返して
「きつとね」
「あゝ」
西城は立上つた。麗は、手を放さなかつた。

飜意せねば一擊の下 蘇炳文を膺懲す
最後回答を待つのみ

【チチハル特電二十九日發】廿九日午前呼倫貝爾に立籠つた蘇炳文一派も最後の來る日を待ち廿八日チチハルを距る三里花木舟河に蘇の手兵約二旅騎兵第五團三百名、八團四百名の大部隊を先行し同地土民を脅迫して曰く「後續部隊來る、爾等立退け」と目下盛んに各部落に暴威を振つてゐるが、わが軍は何時でも彼等叛軍兵匪を擊退し得るも和平解決の方針にて蘇炳文に對し最後の警告を發してゐるから、これに對して何等かの返電ない時は斷乎として一擧に彼等叛軍兵匪を擊破する重大決心あるを示してゐるから頑迷なる蘇の進退如何に拘らず興安嶺以西の樂土建設も近き日にある

直接交渉開始まで なほ數日を要する
蘇炳文の回答を待ち 旅客機で交渉員入露

【東京三十日發】滿洲里方面監禁邦人救出に就き蘇炳文と直接交渉するため關東軍並に滿洲國より派遣される交渉員は關東軍より五、六名(委員長大佐級より選定)滿洲國より三、四名派遣する方針で委員はチチハルより交通杜絶のため旅客機で入露する事、交渉開催地並に蘇炳文側代表派遣方に就いては目下勞農政府と交渉同政府の入露承諾回答並に蘇炳文側の應諾の報を待つて出發する事になつてゐるので愈々交渉開始されるまでにはなほ數日を要すとみられてゐる

中華、全大連勝つ
蹴球聯盟秋季リーグ戰

大連蹴球聯盟主催の秋季リーグ戰第三日目隆華對中華、全大連對師一同の兩戰は三十日午前九時より大連運動場に於て擧行したが隆華戰は三對二で中華勝ち全大連戰は五對二で全大連大勝した戰績左の如し

▲中華三―二隆華 (主審張玉品、線審郭文才、朱長英、門審李福昌、王慶志)

中華(1―0 / 2―0)隆華

隆華 FW 孫郭于呂張王錢王齊 / HB 尊達庭富煥雲琇富明 / FB 德養樸作文鴻寶本德 / GK

中華 FW 東信新堂山榮祺仁昌 / HB 福德永銘壽清長子世 / FB 汪孫李王祭于郭宋藏

GK 25 4 / CK 1 5 / FK 2 3 / PK 0 1

▲全大連五―一師同 (主審宋子仁、線審韓本之、劉剛、門審陳相生、任政國)

全大連(2―1 / 3―0)師同

全大連 黑宮名石丸山長福立內後 / 瀨田藤井山本瀨間上田藤

師同 李李孫王劉劉王范方安孫 / 上土吳床大茂國光振立克 / 荅道祚文川常強聖寶鵬琛

GK 8 17 / CK 5 1 / FK 4 7 / PK 0 1

籠球大會
午前中の戰績

本社後援、大連基督教靑年會主催の第八回全滿籠球大會は三十日午前九時より大連第一中學校體育場に於いて全滿より十チーム參加の下に擧行、定刻九時出場チームの入場式を行ひ昨年度優勝チーム第一部大連一中、第二部大連YMCAより優勝盃を返還直に競技に移つた、覇權目ざして各チームとも力戰し場外にあふれる觀衆手に汗を握る、午前中の戰績左の如し

▲黑猫三六―二七イーグル (審判千葉、瀧川兩氏 午前九時十分開始)

黑猫(二一 一五)(一〇 一七)イーグル

罰則	得點	黑猫		イーグル	得點	罰則
1	12	隋	F	瀨 岩	2	1
0	15	安		田 森	12	0
2	4	王	C	佐 須 美	11	2
0	2	劉	G	盛 安	0	1
2	3	馬		上 水	2	1
17		投 野				12
2		自由投				3
36	5	計			27	5

▲鞍山中學二三―二五長春商業 (審判奧田、望月兩氏 午前十時七分開始)

遠來初出場の長春商業元氣一杯に戰ひ試合は技倆伯仲一進一退シーソーゲームを演じて觀衆を熱狂せしめたが、ゴール下の追蹤に一日の長ある鞍山中學タイムアツプ直前に數ゴールを連獲して勝つ

鞍山中學(一二 一一)(一一 一四)長春商業

罰則	得點	鞍山中學		長春商業	得點	罰則
2	10	永 福	F	見本	4	0
1	13	勢 伊		里吉	14	0
0	4	塚 福	C	熊谷	4	3
0	0	頭 江				
1	4	田 本	G	森谷	1	1
0	0	倉 小				
0	2	西		山根	2	1
15		投 野				11
3		自由投				3
33	4	計			25	5

▲醫大二四―二二工專 (審判岩瀨、望月兩氏 午前十時五十五分開始)

醫大(九 一五)(一六 六)工專

罰則	得點	醫大		工專	得點	罰則
3	1	湯	F	田 山	10	0
0	2	趙		久保 西	4	0
0	0	郭	C	林	5	2
0	14	喬		井 福	0	2
2	2	趙	G	澤 相	2	3
2	4	蘇		木 松	1	1
9		投 野				9
6		自由投				4
24	7	計			22	6

俄然大連署緊張し 選擧違反摘發
高等係總出動

選擧取締に晝夜の別なく活動を續けてゐる大連署高等係では愈々投票日を一日控へた三十日、各方面から鄕の齒を引くが如き情報を手にした末光高等主任を中心に特務總出動の下に何等か秘かに協議を凝らした後、二十數名の取締員は緊張の面持ちで再び選擧戰場に散つて行つたが、右は巷間種々傳へられる候補者の戶別訪問、運動員にあらざる者の運動又は實彈射擊等の選擧違反事件に對しいよいよ調査の手を染めたものと見られ、既に當局に於ては二、三候補の違反事件の確證を握つた模樣で戰ひ酣な裏面に警吏の眼は益々鋭く光つて來た、餘すところ運動一日となり最後に各候補がどんな死もの狂ひの潜行戰を放つか、これに對する取締の手は嚴重を加へてゐるが選擧終了後には相當違反事件の摘發を見る模樣で無氣味な空氣が大連署の廊下に漂ふてゐる

滿洲國を代表し鄕軍大會へ

滿洲國國務總理鄭孝胥氏の代理としてさきに九州久留米において開催された全九州在鄕軍人支部大會に出席中であつた滿洲國協和會中央事務局總務處長于靜遠氏は軍政部中校鴨託夏文運氏と共に廿日入港うすりい丸で來連したが語る

廿四日九州で行はれた九州在鄕軍人支部大會に出席の滿洲國代表として廿日に出發約一週間を九州で暮して歸つた、統制のされた立派な鄕軍の意氣には敬意を表した、我々の教へられる所は大きい殊に賀陽宮殿下に拜謁の光榮に浴したが實に私達としては感銘おく能はないところだ自分は同總會で協和會の主旨、滿洲國の將來と云つた事に關して鄕軍一同に講演をして來た

協和會へ
元氣な三女性

山田校長と同行憧れの滿洲に第一歩を印した滿蒙學校卒業生中の紅三點、言ふ事が頗かで元氣一杯だ見戶部さんに佐々さん鈴木さん、いづれも廿歲から廿三四位、洋裝姿もピッタリしてゐる

私達、女學校を出てすぐにも滿洲へと思つたんでしたが滿洲の事を少しも知らないで飛び出してあさからつまらない目を見るよりはと云ふので丁度開校された許りの滿蒙學校へ入つたんです、協和會の于若關さんや馬さん達のお話も伺ひました、その他滿洲國の婦人方に色々お交際願つて非常に好感を持ちました今度願へたら協和會にても雇つて頂きたいと思つてます、いよいよ私達も滿洲の人になつたんです

以上、大學を出たものも居るし女性も歡迎する現に今度協和會の方の仕事をすべく三名の女性が自分と一緒に來た、協和會とは特に連絡をさりさきに協和會の人達が日本に來られた時に講演をして貰つた、第一回の卒業生二百七十三名、第二回の就學中のものが二百四十名居る第一回の卒業生中に既に滿洲で職を得たものもゐる、武藤全權や高柳中將は大學で一緒だ、日露役では第一軍兵站參謀長をしてゐた(寫眞は山田校長と卒業生)

恩給財團へ 五萬圓を御下賜
畏し私學御奬勵思召

【東京三十日發】天皇陛下には豫て御內意ありたる如く全國各私立學校が官公立學校の恩給制度に則り教育に專念するため財團法人恩給財團を設置する趣き聞召され私學御奬勵の畏き思召しから御補助金として五萬圓下賜の御沙汰あり當番幹事日本大學の荒川五郎氏は三十一日午前十一時宮內省に出頭宮相を經て拜受する事となつた

滿蒙學校の 卒業生を伴れて
校長の山田中將來る

滿洲を志すものにあらかじめ滿蒙知識の普及を圖る意味で、陸軍、拓務、滿鐵各方面の絶大な後援のもとに今春四月東京に開設された滿蒙學校長山田陸槌中將は同校第一回卒業生中滿洲に働きたいと云ふ健げな女性見戶部しげ子さん、佐々初江さん鈴木初江さんの三名を伴ひ三十日入港うすりい丸で來滿したが、山田校長は語る

働くものに豫備智識を與へる機關で滿洲の事情をよく知らないで無暗に飛び出すものに相當の準備を與へるので教師も現役將校、拓務省のお役人、滿鐵社員を聘し滿蒙に關する限り地歷は勿論農工業林鑛業、水產業すべてを教へてゐる、中等學校卒業

大分縣人各位へ
特に御願

私は縣人有志の御推薦に依て今回の市會議員に立候補致しました此滿洲同情に對して大に責任を感じ目下惡戰苦鬪し當落の境にあります決して樂觀を許しません就きましては選擧も愈々明後日に迫りました、どうか此責任を果させ當選の榮を贏ち得る樣特に御願ひ申し上ます

大連市會議員候補者 是恒金十郎

內地で出來ない 製品を期待する
製鋼所の出現と內地業界

日本における煖房機械製作所を打つて一丸とする國產放熱機械株式會社常務、高砂鐵工會社取締役支配人關山延氏は滿洲における煖房界の狀況視察旁々新興滿洲國との取引につき調査のため三十日入港うすりい丸で來連したが、內地における製鐵界の近況につき語る

鐵工界は少し色めいて來た一つには品薄が手傳ふのもあるが、滿洲國の成立が何と云つても原因の一つだ、昭和製鋼所がいよいよ實現の運びになるがこれが設立は內地當業者には痛いところだがその代り我々の手で出來ないものをドシドシ製造して貰へば好い、例へば帶鐵の如きはルクセンブルグ、ドイツ、ベルギー邊りから仰いでゐたがそんな物も造つて貰ひたい、一番困つてゐるのは薄物鐵が品薄で一噸百五十圓位のもので半月位の間に二百五十圓から三百圓に騰つてゐる始末だ、とにかく昭和製鋼所には期待をかけてゐる八幡で出來なかつた物をドシドシ作つてその代り內地の營業者に脅威を與へるものは差しひかへて貰ひたい、自分の會社からはラジエーター、ボイラーなぞを滿洲に送り込んでゐるが將來愈々利用されるものと思つてその販路もよく見て行く、二週間位の豫定で奉天新京まで行く

勅語御下賜 記念式
けふ各學校で

三十日は明治天皇の教育勅語御下賜の日より四十二年目の記念日に當るのでこの日を記念し市內各中等學校小學校では午前八時半より記念式を擧行教育勅語を捧讀した

小野僧正歸京

朝鮮、滿洲巡錫中の日蓮宗管長代理宗務總監小小日完僧正一行は信徒多數の盛大な見送裡に三十日出帆のほんこん丸で歸國の途についたが語る

勅額拜戴の奉答、傳達のため朝鮮、滿洲を說教して廻りましたが滿洲訪問は滿洲國建國を祝して國都を訪問することも主要な目的になつてをりました新京では執政にもお會ひ出來、奉天では武藤全權にお會ひしました、各方面の日滿要人にお會ひすることが出來たことは何よりでした

列車內で盜難

二十九日午後九時五十五分ごろ大連驛プラットホームで市內得勝街三番地金子憲司氏が見送人と立話中十七列車三等室に置いた赤革トランク一個を何者かに竊取されたのを周水子驛に行つて氣付き屆出た、トランクの中には毛皮付トンビ(時價五十圓)外衣類數點あり大連署で犯人嚴探中

買物中にスリ

廿八日午後七時ごろ滿鐵地方課庶務係阿田義氏は岩倉洋行で買物中現金十七圓餘入りの財布を掏り取られ大連署へ屆出た

新進テナー來る
事變小唄で賣出した 阿部幸次郞氏が在滿邦人慰問

新進の花形テーナーとして豐富な聲量を以て前途を囑目されてゐる歌手阿部幸次氏は新劇運動の大阪指星座の松本喜太郞氏と同伴して三十日入港のうすりい丸で來連した、テナー阿部幸次氏は東洋音樂學校出身で上海事變の勇士空閑少佐と富山中學で共に教鞭をとつたことがありその後イタリーに留學してオペラに精進し昨年六月歸朝し、滿洲事變突破と共にフリーランサーとして事變小唄をレコードに吹込み一躍大衆の支持を得てジヤズソング及び民謠歌手として名聲を博し今日に至り、今回は在滿邦人の慰問を兼れ事變以來多數發表された各種の事變小唄を中心としたプログラムを組み近くリサイタルを催しデビュウする筈である また松本喜太郞氏は坪內士行氏を舞臺監督とする指星座同人であり且つ關西解說界の第一人者として名聲がある新人である【寫眞左阿部氏右松本氏】

けふの寫眞

【上圖】小學校の教育勅語御下賜記念式
【下圖】醫大對工大對抗障碍馬術大會

滿洲美術展雜感
洋畫の地方畫壇的色彩 批判さるべき製作態度

東洋畫、西洋畫を通じて靜かなる畫風が多い、西洋畫について滿洲畫壇は內地中央畫壇やフランスにおける樣にフオヴイズム、ネオ、フオヴイズム、シユール、レアリズム等々の如き躍然たる活動はない、丁度畫學生の修練時代や學校畫論と云つた樣な平穩穩健な畫風がその大部分の壁面を占領してゐる、全體として統一性にとぼしく作品各々に躍然たるものを見のがす事は出來ない、地方畫壇ではこの現象で指導のよきリーダーが居ない事に原因してゐる、第一回展に比し向上のむきはうかゞはれるが大別して大部分がアカデミックにもの二科展に近まつたものその他の新しいと云ふ種類のものに分類する事が出來る

アカデミックなものでは古參の人や新しくスタートした人々の作品多く一部の靑年側に二科傾向その他のものを見得るのみである、概して、この展覽會の中堅をなすものは靑年作家の極小部分あろう…である

總體として特に印象に殘るものをあぐれば畫を描かんとする態度に於て意識してゐるものを擧げたいと思ふ是等は何れも若い人達の仕事である事も凡ての展覽會の場合と同じく他は繪を描く事それ自身漠然たる內容にて作畫した云はゞ習作と云ふ型のものでそこに構成の委縮表現の淺薄なところがあるのである

小宮山孔草(市場)忠實に見てゐる點を愛し色彩もいゝ、荒木忠三郞(靜物)健實な筆を有しアカデミズムの中でも出色の作であらう、久留島明(公園の秋)畫としてのまとまりをさる、本田平八郞(郊外へ行く道)畫面に面白い空氣をもつてゐる達者な筆勢をもつてゐる、大森義夫(胡弓を持つ男)光線、色彩のあかぬけした點、デッサンがしつかりしてゐて好い、佐藤功(エスパンカ)光線、色彩共によく堅實な腕をもつてゐる、直原明道(靜物)デッサンが變だが其の技法に時代性をもつてゐるし一方向をうかがひ得る、伊藤金藏(ガス塞)モチーフの面白さを見る事が出來る、樋口成敏(小品二ツ)文學的な氣持をもつ唯一の作だ、川上草子(立ちある風景)畫面全體を構成する量感に於て又よく引きしまつたまとまりをもつ、木立ちに對する色彩感もデリケートである、渡邊隆二(新京風景)二科傾向を多分にもちコイキと共に多分なテクニシャンである、山城竹次(金州風景)空のあたゝかさを賞したい、平島信(小平島)中景の海がどうかと思はれるが畫面全體に趣味を充分もつてゐる小品の方によさを見る、谷山靜生(ジャバサラサを配したる花)實に器用に描きあげてある山本芳智(コスモス)二科調の靜物である、河南拓(西陽)多分に牧歌的な色彩をもつてゐる、濱野正義(伏見臺)畫面に白いてすりがよく働いてゐる、場中の佳作として奧行維(千九百卅一年習作)九三〇年展傾向の色彩だ(うらむ男)セザニズムに進む努力の作品である、鈴木明(ターを持つ男)現在に存在する…された傾向のもので勉(ボクサー)新しい傾向でフオーヴイズムに入れ得る…一つで、氣傑な表現で白線もよくきいてゐる、李(來襲雨)コムポジシヤンい文學的…

最後に觀覽者の見方即ち認識に於て忠實であつてほしい、見方がしつかりしてゐる事はその結果に於て大な好結果をもたらすと否とになるからだ、觀覽者は社會の一員である事を自覺し指針的な立場による製作をなるよろこびのためにも自分達の態度を眞劍にしデカタンして不自然な製作即ち享樂的製作を排除すべきだと思ひかける…すると共に、只描くと云ふ事でなく描く事の必然を決定する決定性の境にも充分な理論をあらん事を望むのである滿洲に於ても時代的方向に對し各自の總體的な批判を必要とするのではないかと思ふ

西の風 晴 十月三十一日

滿潮(午前十時五十五分 午後十一時二十五分)
干潮(午前五時 午後四時四十五分)

各地氣溫

大連 一七 旅順 一八
營口 一七 奉天 一五
長春 一三

國難日本刀 (140)

高桑義生作　京極佳夕畫

浪士團と彼 (十)

一刻ばかりの後、淸次と稔吉の二人は、赤坂溜池に出て、花菱といふ小料理屋の、のれんをおしわけた。

そこで、桂小五郎を待ち合せる約束。

小五郎は、日比谷御門外の藩邸にゐた。

淸次とは、急場の連絡がついてゐるので、待つ間もなく、小五郎はおなじ職人の扮裝でやつて來た。

「待つたか?」

「いゝえ、つい今しがた、お先にぼつ〳〵やつてますぜ」

稔吉は居ずまひを直した。

「かまはず、おやんなさい。この仁だな」

「さうです」

「わしが桂」

「稔吉と申します」

ひき合せは濟んだ。形ばかりの盃の遣り取りがすむと

「早速だが、あんたの思ふまゝを腹藏なく話して貰ひたいものだが……左様、下田の一件――そこらからいとぐちを切つて貰はう」

と小五郎は口を切つた。

「先生ですが……」

と稔吉は答へた。

「わつしの先生が生きてゐるといふ――。わつしも及ぶ限りは探つて見たのですが、しかし、手前などとは御身分が違ふのですから、或はお話のやうな事が……」

小五郎に會つた稔吉、なぜか信じられるやうな氣がして來た。

「もし眞實生きてゐるのなら、きつとお骨折りが願へろといふ――お言葉を頂きてえもので……」

「ウム、たしかに生きてゐる。きつと引受ける」

と、小五郎は自信あるらしく答へた。

稔吉は十年前の若鮎を、あの頃の苦心慘澹のあとを、なつかしく思ひ返して――米艦密乘の一件を語り出した。

小五郎はまた、同鄕の先輩で――その後安政の大獄で再度捕はれて、小傳馬町に刑死した松陰吉田寅次郎の、時もおなじ、場所もおなじ米艦密乘事件を思ひながら、稔吉のはなしを傾聽したのだつた。

「――先生は、さうして、御自分で手をうしろにまはして、お繩をお受けになつたのです。もし、わたしといふ者がなかつたら? わたしや音作に罪はない、罪もない者を捕へさせたのは自分だ。すべての責が御自分にあるとお考へになつたからなので、先生は一人で罪を受けて、わたし達の助命を願はれたのです。だから、殘念でたつた――たゞわたし達のために捕まりません。取るに足られえわたし達のために、大切な人を、この國のために、なくてはならねえ立派な人を、あたら牢内に殺してしまつたのだ。先生のお心得は、底が知れねえ。こりやアせつかくのお尋ねですが、あさはかなわたし達にはわかりません。何と申しあげる事も出來ねえ位ですが、わたしは、この世の中の誰よりも、先生といふ人を信じてゐます。先生さへ生きてゐたら、わたしの眼の先は明るい。賴りにしてゐます。先生のお指圖で、わたしもいくらか人間なみの仕事が出來たのです

今のわたしはめくら蛇も同然で、譯も何にもわかられえ、暴れまけつてゐますが、時々はふいと、これでいゝのか――たとへ世の中た呪つてはゐても、人の迷惑を――人を斬つたり、掠奪したり、これでいゝのか? 異人は憎い。考へやうによつては先生の仇だが、先生はけつして異人を惡くいはなかつた。先生のやうないゝ人はありません。立派な人はありません。國のために、そして大勢の人のために、先生はいつも身を棄てかゝつてゐる。學問もお出來になる。劍術も――先生さへ生きてゐてくれたら……」

稔吉の言葉は、はてしもなく續くのだつた。

「あんたの眞情だけでも、その人は生きてゐる。生きてゐなければならぬ」

小五郎はお加代を思ひ合せて、强く心を打たれた。羨むべき人間――と思ふのだつた。

協和會館映畫

大連滿鐵社員俱樂部では三十一日午後六時半から協和會館で映畫會を主催し松竹時代劇トーキー林長二郎主演「怒濤の騎士」八卷及び松竹蒲田作品八雲惠美子主演「涙の瞳」十卷を上映、會費は大人四十錢會員外六十錢で「涙の瞳」は白藤六郎が解說する

映畫舞踊週間

常盤座では卅一日からワーナー映畫喜劇「愉快な相棒」RKO發聲映畫「ナイトパレード」を上映、餘興としてセルビアン舞踊團を上演して映畫と舞踊週間を催すが入場料は五十錢である

大毎活寫支庫

大阪毎日では、つとにフイルム、ライブラリーを設置して活躍好評を博してゐるが、先に同社永野活映班主務が來滿フイルム、ライブラリー講習會を沿線各都市で開催したところ成績すこぶる良好で、全滿敎育團體より滿洲に支庫設置方を要望したので同社では今回奉天に支庫を設置すると同時に大連では北大山通大毎大連支局內に分庫を設け、その事務を永年同社に對しキネマニユースを製作提供してゐる滿洲映畫社成田健吉氏に囑託した

愈今明日限り

好評の『プレジヤンの船唄』

秋の映畫陣を飾つて廿日以來盛況をつゞけ來つた本社後援の「プレジヤンの船唄」觀賞讀者優待映畫會はいよ〳〵白熱的人氣を煽つて映畫フアンから絕讚の的となり益々好評を博しつゝあるか、今明日限りであるからこの機會を逸せず巴里の屋根の下以來のプレジヤンの名聲を更に高めたフランス映畫の精粹である「プレジヤンの船唄」を本紙刷込み優待割引券を利用して觀賞されたい、恐らく今秋の映畫シーズンの洋畫のうち最も優秀な作品として映畫愛好家の期待にそふものがあることを信じ本社の推薦する映畫である

「プレジヤンの船唄」
讀者優待割引券
この券持參者に限り
階上五十錢 階下四十錢
滿洲日報社

「プレジヤンの船唄」
讀者優待割引券
この券持參者に限り
階上五十錢 階下四十錢
滿洲日報社

お化粧の常識　十一

同年配のお嬢さん方に　私の白粉の經驗を――

尾上菊枝嬢

端も行かない、云はゞ未だ小供も同然の私が、しかも同年配の皆様方に經驗話など、一角生意氣らしく顔は面映い次第ではございますが、唯白粉の事に就いては、夙くから菊五郎丈に從つて舞臺へ立つて居ります關係から、或は皆様方に一日の長とやらで、多少とも御參考に成る事も有らうかと、見たり聞いたり又經驗しました事を申上げて見るだけで御座います。

菊五郎丈と申せば直ぐ、定めし皆様方――と申しましても勿論此白粉の方に多少とも興味をお有ちの方に限る事ですが、其皆様方はキット日本で初めてチタニウムを使つた白粉、委しく云へば無鉛無害の二酸化チタニウムに或る成分を配劑して成功したサーワ白粉を御連想遊はす事かと存じますが、私も勿論最初から此サーワ白粉を使用致して居ります。

菊五郎丈は衛生上からは云ふ迄も無く、白粉が目的とするお化粧の效果からも共に、此白粉を

日本一の白粉

として世間に推奬して居りますがそれは菊五郎丈のみの事では無く私が矢張御一緒に舞臺へ立たして頂いた他の歌舞伎畠の諸優も、又新派の河合、喜多村、花柳等の諸優も或は米國で成功され、歸朝されて實演もされた早川氏も、凡そ誰彼と云はず白粉に最も縁の深い舞臺方面の先輩諸優は、揃つて此白粉の化粧效果を樂しまれ、同時に世間の皆様にも推奬されて居られるのでございます。

勿論舞臺化粧は何ちらかと云へば遠目を標準と致しますから一般に其化粧法も強く激しいので、そつくり其儘な皆様平生のお化粧に移すわけには參りませんが、然し化粧法としては昔から一番進んだものですから、之の要領を一般に穏かにし手加減して、そして應用なされば宜しい譯で、つまりお化粧の要は、缺點を隠して

長所を生かす

所に在るのだと存じます。

何しろ此サーワ白粉と申しますのは美しく附着く白粉で、コウ何とも上品に冴えますから、舞臺でも此白粉で化粧して居る俳優は、其れと直ぐ分ります。と云ふのが實に翻然とした、即ち生々とした印象で、從來の化粧のやうに何と無くボヤケた感じが有りませんから、同時に之を舞臺の方から見ましても、お客様で此白粉を使つてお出での方は直ぐと見分けが附きます譯で御座います。

其上に伸びが又素晴しく宜しい白粉でして、何でも凡そ三倍からもよく伸びると云ひますが、それも成程と頷けますのは、論より證據從來の半量以下で却つて以上の化粧效果が擧がりますので、例の鮮かなといふ形容詞は實にサーワ白粉の此仕上りの美しさの爲の詞かとも云ひ度い位で御座いますそして而も夫れが汗が出ましても又時が經つて粉が浮くといふ樣な

却々に崩れず

事も無く、何時迄も同じ美しさが寧ろ時が經つ程美しい位のお化粧が實に永く保つので御座います。

私共家庭では、樂屋での濃化粧とは違つて何時も、一寸外出などいふ時にも全く簡單にチョイ〱と化粧して了ひますので、例へば煉とか水白粉とかの類なれば、單にそれを夫々適當に溶いて刷毛で塗るとか、或は粉ならばパフで簡單にハタキ込むとか、云はゞ夫だけですが、それ丈でも此白粉だと全く美しく出來ます。が、然しお化粧の本來は私共が樂屋で致しますやうに、出來るだけ順序を踏んで丁寧に、つまり面倒くさがらずに、而も始めたなら手早くしなければ成らないものかと存じます。例へば今

湯上りのお化粧

だと致しますと、かすは無く先づ入浴中に地肌の汚れた脂肪を落さなくては成りませんが、それには必ず肌膚の緩和な、流した後迄ぬらつかぬ石鹸、例へばミツワ石鹸の如きを使ひ、お化粧は湯上り直ぐですと肝腎の白粉が落着かず、直きに崩れたがりますから、是非とも其處に多少の時間を措いて地肌がすつかりと落着いた所で先づサーワの化粧水を襟からお顔一面へ擦込みます。それから襟白粉のためには其位一二杯分位のサーワ白粉下を兩掌によく伸ばしてから、咽喉から耳の後ろ、又後襟へと萬遍無く擦込んで殆んど掌にも脂氣を感じない位にまでシッカリと撫でます。

次にサーワの固煉でも或は新らしい固形白粉でも溶皿へ溶いて堂刷毛で塗込み、それが乾いた所で

水刷毛を掛ける。

と今度はお顔ですが、先づサーワの頬紅を眼の周圍へは薄く、それから兩頬へはそれよりは一寸濃く附けて水刷毛をシッカリと掛け、其邊りを押へてからパフで粉白粉を押付ける樣に刷き、其上から水白粉を薄めて塗り、再び粉を打込み經つてガーゼか何かで全体を押へて、それから眉や睫毛に附いてゐる餘分の白粉を除り、そして眉墨、口紅といふ順序で御座いますが、之等も勿論白粉と同系統のサーワ眉墨、サーワ口紅を用ひます。

一寸技巧の要りますのは襟白粉とお顔との繼目ですが、之は刷毛でボカせばよく、又頬紅の塗り場所はお顔の形に據る事ですから、總ては鏡に向つて御自分で工夫なさるのが一番宜しい譯。大体に白粉の部分は高く、紅の所は低く見えるもので御座いますが然し、紅が却つて注意を惹いて高く見えるやうな場合もありますから、夫々に御研究を願ひます次第です。

番數も取り進み 市議戰、中入後
泣き笑ひ清算の日

政戰十九日、戰ひは餘すところあと一日、いよ〳〵最後のゴールは近づいた、三十日の日曜日こそは全立候補者四十一名が死力をつくして臨むべき最後の決戰日で、いはゞ立候補者達にとつては當落の運命を決すべき厄日なのだ、さ れば各立候補者達は攻撃に守備に萬全を期するため神變不測の策を練り既に火蓋を切つた戰線には援兵を送り手薄の陣地には塹壕を掘りドン〳〵戰局を進めてゐるが目下各候補の陣形は先づ

小野、田中(守)高橋、若月、菅原、古泉、蔦井、笠原、今村、相川、森川、直塚、西田の各候補者は守備八分、攻撃二分の陣容であり

三田、一宮、松浦、山口、千種熊谷、五十嵐の各候補者は守備六分、攻撃四分の構へである、而して田尻、恩田、有馬、佐多、桑野大内、高塚、龜澤、芦刈の面々は攻守五分々々の隊形を整へ

石川、矢野、上原、中川立石、志村、林田、石本の各候補者は守備四分、攻撃六分の姿勢できた

の候補者は守備二分攻撃八分の陣立をなし

是恒、田中(正)栗崎の各候補は攻撃一手の編成である

二十九日午後より夜にかけて直塚候補の躍進は目醒ましく西田候補なども有利に戰鬪を進めて行き相川候補また相川信者の結束固く小野候補と共に鐵補の地盤に鐵條網を張りつゝあり、また沙河口工場の金城鐵壁は各候補の連日に亙る一齊突撃により龜裂日に大となり殊に一宮候補の蒙る損害少からず形勢逆轉したかの感を深め立石候補は病床の苦戰世の同情を惹きや、好轉せるもの、如きも石本候補同様決して安堵を許されない當落の境にあり、矢野、恩田、中川、石川各候補また同樣樂觀を許されない立場にある、今や各候補は伏兵にまで三度動員を下し奇襲逆襲は勿論のこと、神變摩訶不思議の戰法で互に攻め合つてゐる

愈々最後の大詰め 乾坤一擲の白兵戰
各陣營は全員總出動

大連市會議員の選擧もいよ〳〵最後の大詰に近づいた、三十日の日曜日こそは實に既往二旬に亙る政戰の最後的運命を決すべき重大な決戰日とて早朝來戰雲頻りに去來し一萬五千有餘の有權者に對し四十一名の立候補者がのるかそるか死を賭した乾坤一擲の白兵戰は華々しく展開された、各陣營は全軍總出動で或は守備につき或は攻撃に移り御大自ら

陣頭 に立つて戰鬪叱咤三軍を指揮してゐる、然うかと思へば單身騎馬を躍らして敵陣深く突入し敵將と一騎打の眞劍勝負を演ずるもの、阿修羅の如く抱し立てるもの、鬼神も三叉を避くる兵法に全市は忽ち兵火の巷と化し物凄い修羅場に一轉した、この戰線の渦中にあり苦戰に喘いでゐた有馬候補は作戰圖に當りや、陣勢を挽回し辛くも當選線突破の曙光を見出すに至り鈴木候補は露西亞町方面に熊谷、芦刈兩候補に挾撃され再び苦戰に陷り、芦刈候補はまた大連驛、逢坂町方面の戰況ますく

好轉 し順調に勢力を扶植しつゝありと傳へられてゐる、上原、志村兩候補は必死となつて敵に占據された地盤の奪還に猛烈な逆襲を試み一進一退の苦戰をつゞけ、桑野、恩田各候補また六韜三略の用兵に敵陣地を脅かし是恒、田中(正)、栗崎各候補は追撃また追撃の猪突猛進を行つてゐる、西部戰線は森川、石川の兩候補が大連より突貫の各候補を支へ切れず砂塵濛々とあげて大接戰を行つて居り東部戰線また埠頭を中心に各

候補者 **怒濤** の如く押し寄せ白熱戰を演じてゐる、一方看板戰も一層熾烈を加へ滿鐵本社前、常盤橋中央公園入口、大正廣場等投票場に近く且つ目貫の場所には何れも集中的の主力を注ぎ行人の目を奪ふ可く林の如く立てられて來た

滿鐵側陣營 形勢何れも混沌
各候補の事務所を伺ふ

市議選擧を目前に控へた滿鐵側の立候補者の陣營も今は全く血眼の活動で形勢何れも混沌とし社內各所に設けた選擧事務所は何れも動員令を下して最後の奇襲に一路ゴールに突進してゐる、廿九日午後各候補者の事務所に伺ひを立てながら某消息通の觀測を聞いて見る

▲直塚芳夫氏　今のところ直塚君が一番好いだらう、然しこれも結束が崩れないと見てだよ、何分直塚君はあの通り眞面目な男だし人から賴られる男だよ

▲山口十助氏　山口君は氣の毒だ社の重要問題で奉天に出張し選擧以上の忙しい思をしてゐるのだからな、最初は運動不足と立遲れで斷然悲觀狀態にあつたが

最近鐵道部技術關係の結束が固くなり遲まきながら埠頭にも進出したからこの調子ではまあ安心だらう

▲千種峰藏氏　千種君は選擧でポーッとしたのか別頭病臥してしまつたれ、廿九日からは元氣に出社したがこの間の運動不足は大きいよ、然し決して悲觀さいふ所ではない、星ケ浦での得票もあらうし人好きのする人だからこれもまあ安心のところだらう

▲西田猪之輔氏　西田君は流石に能率專門家だけあつて違ふれ、着實に有効に社外にまで手を擴げてゐるから社內では一番安全の組だらう、それに運動も早かつた、選擧委員長は智謀市川經理部次長であり、精々地盤固めに努めてゐるこさだらう

▲松浦開地良氏　一番評判が良いので本人は悲觀してゐるよ、そのため經濟調査會がぐらつく、埠頭の地盤に喰込まれるので暢氣なお父さんもまごついてゐるよ、然し評判が好いことは事實なんだし、この上は地盤を守つて敵襲を防ぐのが第一だと三十一日午後零時半から協和會館で演說會をやるさうだ

▲一宮章氏、菅原恒男氏　二人は周知の如く沙河口工場を地盤にして鐵補の固さを誇つてゐたが最近無殘にもその一部を喰込まれ殊に一宮君が酷いさかで大分騷いでゐるやうだ、モンロー主義を唱へて唯結束だけに血眼さなつてゐるのだしまあ大丈夫さは思ふが兎に角これではならぬ

官服着用で 戸別訪問
敵候補者フンガイの卷

街で拾つた選擧のナンセンス―運動いよ〳〵白熱化して買收、戸別訪問等の噂頻々として傳へられるがこれはある程度まで事實かとも思はれるがまた例のデマかも知れない、デマであれば結構なことで一笑に附するがよい、といふのはつひ最近新人の某候補者はある私用のため知人の宅を訪れてゐた、そこへその候補者が訪れてゐるとも知らず某役所の吏員二名（特に名を秘す）がノコ〳〵やつて來て他候補者のため熾に賞讃の辭を述べ何卒一票をその候補者のために投じてくれと結び引き下つたが傍らでその話の模樣をすつかり聞きとつた先客の某候補は大いにフンガイし早速その役所へ電話で捻込んだといふのであるがかうした戸別訪問も大分あるらしくフンガイの某候補は役所の吏員が戸別訪問をして歩くとは怪しからぬ選擧違反さして告發しやうさ思つたがそれまでムキになる必要もないと思つて役所へ注意して置いたと語つてゐた

旅順 市會議員選擧
事務の分擔きまる

旅順市會議員選擧事務員の事務分擔及び當日の立會人は左の如く決定した

▲選擧會場（昭和園）の部　選擧長永山嘉一▲受附係左座敏… 尻辰市▲事故係木下周次郎、杉良三▲對照係黑川巖夫▲投票係田中敬次

▲記錄係　佐藤清▲取締係… 造、若栄長敏（以上場內）… 寅行、近藤德治（以上… 接待係羽場イセ、渡邊… ▲立會人　安藤榮次郎、… 島村紋太郎、小山光… ▲投票分會場の部　分會… 太郎▲受附係谷崎龜八… 松▲事故係高橋藤次郎

新井喜一▲名簿對照係山口晋▲投票用紙交附係林田基政▲記錄係永島隆助▲取締係白岩隆（場內）北原正雄、坂井七郎（以上場外）接待係西村ひさし、趙成宏

▲立會人　中里末雄、穴澤貞藏、石川清次郎、設樂正雄

▲開票事務の部　受附係谷崎龜八… 建牧半次▲點檢係林田基政、黑川巖夫、高橋藤次郎、田中敬次、山口晋、新井喜一、山尻辰市、羽場イセ、永島隆助▲讀上げ黑川巖夫、田中敬次、山口晋▲採點新井喜一、山尻辰市、永島隆助▲記錄係佐藤清▲取締係左座敏美、若栄長敏、白岩隆、渡邊武夫

鈴木候補演說會

鈴木丈次郎候補は三十一日午後七時より濱町滿鐵ドックの倶樂部で政見發表演說會を開くが應援辯士は左の通りである

島岡琢郞、田中儀作、藤永賀久磯口助次郎、野村熊介。渡邊狂虎、上田省三

さ卅一日には霞町社員倶樂部で最後の演說會をやるさうだ

市議選擧と希望
市民公正論者

◇市會議員の肩書を自己營業に利用する賣名的利慾候補者に對しては投票を見合せる事。

◇一定職業もなく從つて收入もなきルンペン的の流浪候補者は自然利權漁りをするから斯樣な人物も投票を見合せする事。

◇候補者の過去現在を充分採究して一般公衆に迷惑を掛け居る不都合の者に對しても投票見合せする事。

◇同縣人などの如何に關せず人格崇高なる人を選出致しましやう

×

若狹町生

◇大連市議戰も愈々茲二三日で終幕するが吾人の最も關心すべきは候補者の素質の撰擇だ、殊に將來益々複雜性に富む大連市の展開を期する上においては一層の事だ。

◇候補者中には正體のハッキリしない幽靈のやうな者がないでもない、全く危險だ少くとも曖昧な人物は排擊すべしだ。

◇職業市議は市會淨化の上においても排斥すべしである、市議の肩書で今日飯を食はうとする連中がないでもないのは市民は最も注意すべきで、市政革淸のため候補者の素質を向上せねばならぬ。

旅順初等教育會へ
一保護者

◇來る十一月六日旅順の初等教育會として初等學校の學藝會を劇場昭和園にて開催の由新聞紙上にも發表があつたが、何を目的としてせらるゝや學藝會は各學校において保護者に見せて平生の學業の一端を知らす可きものならずや、然も各學校にては殆ど今期は終了せしものと想ふ。

◇何のために劇場等にて合同觀覽的に開催し、一體誰に見せるのですか、近頃學藝會が舞踊團的になり過ぎるとて一般に問題視せらるゝ時節柄昭和園の觀演會やうの如き事は廢止せらるゝ事を望む次第です。

帝國在鄉軍人 對時局全日本大會
帝都日比谷音樂堂の大會衆
國運恢興の決意宣明

【東京二十九日發】對時局帝國在鄉軍人會全國大會は廿九日午後一時半から日比谷新音樂堂で行はれ朝鮮、臺灣、樺太、滿洲の各地から集まつた各代表及び東京各支部の有志約六千名參集來賓として齋藤首相、山本內相、內田外相、荒木陸相、岡田海相、鳩山文相、永井拓相、中島商相の各大臣出席陸軍戸山學校の奏樂に次いで赤井理事開會の辭を述べ一同君ケ代合唱鈴木會長令旨を捧讀終つて非常時に處する在鄉軍人の覺悟を訓示し次いで荒木陸相陸海軍を代表し齋藤首相、山本內相、內田外相等來賓として挨拶を述べた續いて鈴木會長は莊重な態度で左記の決意宣明をなし一同會歌合唱聖壽萬歲を三唱し同二時半散會したが散會後各支部毎に二重橋前に到り宮城を拜した

決意宣明

一、滿洲國の建設により東洋平和の基礎漸く定まれりと雖國際政局の推移豫斷を許さざるものあり吾々は國策遂行のため益々一致團結喜んで國難に赴くの覺悟を有す

二、吾々は內外多難なる現下の國情に鑑み本會傳統の精神に基き皇威宣揚國運興隆の核心たらん事を期す

皇姑屯移管

皇姑屯は奉天市より瀋陽縣管轄に移管される事となり二十九日縣公署に事務移管を終了した【奉天電話】

加藤鮮銀總裁

【京城二十九日發】加藤鮮銀總裁は三十日午後七時二十分發の列車で滿洲に向ひ執政及び武藤全權に會ひ歸途大連に立寄るはずである

ばいかる丸船客

【門司特電三十日發】十一月一日大連入港豫定のばいかる丸の主なる船客左の如し

澤山市松、二島君次、松井新吾谷口英次郎、桝田憲三、小川亮一、小澤清藏、片桐龍一、揚井勇三、諸澤安治

戰死者記念碑に 全權の默禮
移駐車中の武藤全權

全權一行の特別列車には最前部の車に約三十名のタイピストが乘込み、次は軍司令部附軍屬の一行、第三番目の車輛には軍司令部首腦者、その次に小磯參謀長、岡村同副長と武藤全權が乘り三十日午後二時九分

新京 に着したが全權ほじめ幕僚は汽車が范家屯近く維家屯に近づきたるところ栗崎中尉外三名が匪賊討伐に向つた際同地にて敵匪のために戰死したのを三十日滿洲國側で記念碑を作りその除幕式を擧行せる日とて何れも車中から英靈に默禮した、特に全權と小磯參謀長、岡村同次長は非常に緊張せる面持で全權新京入りの今日この式を遙かに望み感慨の深きものがあつた、一行の特別車は

奉天 を立ち鐵嶺、昌圖、公主嶺の三驛で停車したほか一路新京に向つたが全權以下幕僚は各驛に下車いち〳〵擧手の挨拶をなした、飯島四平街、中村公主嶺の各署長は新京まで警戒隨行した【新京電話】

人事

▲太田爲吉氏（スペイン公使）二十九日午後七時着列車で來連

▲大坪正氏（滿鐵旅館事務所長）二十九日午後四時三十分發列車で北上

▲高山勝司氏（長春警察署長）同上

▲飯島重助氏（陸軍歩兵中佐）二十九日午後六時半旅順より來連

▲吉川義章氏（電通滿洲總支社長）雲水ホテルに投宿

▲高山勝司氏（長春警察署長）廿九日午後七時五十分奉天より歸連

▲高山勝司氏（長春警察署長）廿九日事務打合の爲め旅順へ

滿洲里の邦人救出、話し纏まりさうで纏まりかれ、チチハル方面からでは都合が惡いので、露國々境の方面から交渉する事となる、蘇炳文の本音もそれで解ることにならう▲リットン卿、自分の報告書で、滿洲問題の恒久的解決が達成されるとも信じなかつたと、少々弱音を吹き出した▲又、調査團の觀測が現實的でないとの議論もあるが、聯盟規約、不戰條約、九國條約の存在も亦現實だとも云ふ▲併し、現實は次の現實によりて追々打消されて行く、現實は刻々轉變するとは、夫子自身も認めてゐる▲吉田大使の言ふ如く、リットン報告書に、滿洲事情に精通しないものは解決法に口を出す權利なしとするならば、差詰め十九國代表など、其大部分は立往生の外なし▲又千五百通の無責任な投書によりて、三千萬人の總意を斷定した報告書の根據なきことは、正に吉田大使の言の通りなり▲ファシスト軍のローマ進軍十周年記念日にムッソリーニ首相大氣焰を揚ぐ▲兎に角十年の歲月を立派にやつての…氣魄手腕、氣焰を揚げる價値はある▲但し近き將來、イタリヤにもつと犧牲を拂はねばならぬ…んな犧牲だらう。

寄せられた好意 感謝にたへない
退京前に語る
滿洲國文教部の觀察團

【東京特電二十八日發】滿洲國の文教部觀察團、許次長一行は、上京以來各方面の敎育觀察を行つてゐるが、二十八日退京を前に往訪の記者に對し一行を代表して許氏は日本橋八洲ホテルの居室にて次の如く語つた

私の感想さいへば、一言にしていふと「日滿親善、教育振興」につきます、今更日本の方々が色々さ御厚意をよせられたことは感謝にたへません、吾々は歸國して、必ずこの由を母國の人々に傳へる心算です、そして今後益々兩國の親善に盡す心算なものでした、今回の視察は眞に有意義なものでした、滿洲國の教育のため全力をつくす答です、この上とも皆樣の御援助を願ふ次第です。吾々は異國の宿屋がどうかと實に心配してゐたわけですが當ホテルの如き設備の整つた宿で、起居することができ、全く杞憂だつたことを知りました

尙滿洲婦人代表團は二十七日夜着上京し一行も八洲ホテルに投宿した

奉天滿鐵社員 倶樂部復活

久しく滿鐵經濟調查會のため占領され使用不可能となつてゐた奉天萩町七番地の滿鐵社員倶樂部は今回右調査會が大連に引揚げたので倶樂部は元通り復活し一日から同所に撞球部をも新設開始することになつた之がため奉天事務所地方課社會係では十五六歲位のゲーム取の美人を募集してゐる【奉天電話】

ランカシヤの 爭議再發か

【ロンドン廿九日發】ランカシアの紡績爭議は去る二十二日紡績聯合會紡績工合同組合の代表者間に妥協成立十月三十一日より賃銀一磅に付一片半引下げを行ふことが本日聯合會… 條件に一旦解決をみた譯であつた表者會議は右賃銀引下げ妥協案を拒否するに決した結果再び局面逆轉し爭議再發をみる形勢となつた紡績工側は引下げ實施日たる三十一日より休業する答

支那の軍隊 その組織と分析（一）

本稿はフランス人の調査に係るものであるが外人の調査したものとしては相當價値あるものである

中國の軍隊は或は二百萬或は三百萬と算せられ竟に其の實數幾許なるかは蔣總司令、何軍政部長、朱參謀課長と雖ども恐らく明答出來ないであらう、只余の調査する所によると中國には下の如き各系統の軍隊がある

一、中央政府直轄の軍隊

二、西南數省軍事領袖の直轄軍隊（廣東、廣西、雲南、貴州…）

…

四、張學良部下の軍隊

五、省防軍

六、保安隊

七、蒙古軍

八、西藏軍

九、紅軍或は共產軍

十、滿洲の義勇軍

中國軍隊各師の人數は頗る一定せず、若干の師は三千人或は之に滿たざるものすらあり（四川…）而して若干師の如き…

一、中央直轄軍

中央或は蔣介石氏直轄の軍隊は總計約一百師にして卽ち左表の如くである

第一師胡宗南、第二師黃杰、第三師李玉堂、第四師徐庭瑤、第五師馬澤元、第六師趙觀濤、第七師王均、第八師毛炳文、第九師李延年、第十師李默庵、第十一師羅卓英、第十二師曾萬鍾、第十三師萬耀煌、第十四師周至柔、第十五師王東原、第十六師彭位仁、第十七師孫尉如、第十八師朱紹華、第十九師李覺、第二十師孫同萱、第廿一師劉珍年、第廿二師谷良民、第廿三師李雲杰、第廿四師許克祥、第廿五師李松山、第廿六師郭汝棟、第廿七師高樹勳、第廿八師王懋德、第廿九師曹福林、第三十師彭振山、…

…第卅五師馬鴻逵、第卅七師馮自安…

…第八二師容景芳、第八三師蔣伏生、第八四師高桂滋、第八五師…、第八六師…第八七師王敬玖…第八八師俞濟時、第八九師…第九〇師…、…第二師…、第四師井岳秀、第六師…、第七師馬鴻賓、第九師馬…、第十二師王學奎、第十三師…、第十四師魯大昌、第二〇師鄔子舉、第二三師羅澤洲、第三四師陳渠珍

此の一百個師中上海戰に參加したものは只四個師（十九路の三個五路軍の一個師）のみであつた此の二百個師の中には蔣介石氏直系軍隊、馮玉祥氏の國民軍、山西軍、張發奎軍の一部、十九路軍及び路軍の上海戰に參加した一部、西、甘肅の回教軍、馮に屬つて轉じた灰色將軍の部隊、改編して正軍になした舊日の匪軍、昔日の…等がある。

再興の喜びに 半生の苦難を語る
張學良の魔手に自領を失つて 執政に面謁する迄
毓公府 一家を訪ふ

滿洲華やかなりし頃の一月四百五十兩、年俸千兩、米三百二十石其の他一年四萬兩といふ榮華の生活から一朝にして死活線上の落伍者に顚落し滿洲國の

＝成立＝によつてはしなくも再び昔の生活に還るといふ近代ドラマの主人公毓公府一家を奉天松島町十六番地の寓居に訪れた

…◇…

間十軒長屋の中央を兩ざらしの梯子によつて上ると突き當りの土間には洗濯盥、土瓶などが雜然ところがつてゐる、左の部屋は六疊、右の部屋は八疊、この八疊の部屋こそ毓一家の寢起きの部屋である、その中央を襖で仕切つてそこに毓祥氏未亡人毓孟氏（五）と實子、恒義（三）恒良（九）の二夫婦等五名が雜居してゐる、その左六疊部屋には毓孟氏がその大恩人として苦節をともにして來た日本人平幸治郎、和田武雄、穆占明行、田淵武雄の

＝四氏＝が雜居してゐる、恒義、恒良の二氏は流石事は知れぬ血すぢだけに貧しき身なりのうちにもきりりとした氣品を示してゐる、老の身にも包みきれぬ喜びを堪へて未亡人毓孟氏は往訪の記者に次の如く語つた

…◇…

清朝が亡びて民國にかわつてからは私ども王族一派は實に苦しい生活を送つて來ました、頼りと思ふ祥は間もなく民國十五年に六十二歳で病沒し、愈々私どもの生活は窮乏に陷つて行きました、たまたま當時祥が生存中奉天省內に多くの自領が殘されてあることを聞いてゐたのを想ひ出し、その

＝財產＝がなんとかならないものかと思ひ、民國十七年の二月北京の住家を棄て、はるばる山海關の現地にわたつて參りました、そして土地の庄屋を訪れ色々と交渉の結果、自分の土地であることがいよいよ判つたのでやつとそこに腰をすえ、僅かながらも微税を始めてそれによつて細々の生活を續けました、何分女手のことゝて兎角思ふやうに行かず種々苦勞をしましたがそれでも土地の善良の人は昔の恩に感じて僅かづつでも年貢をおさめて呉れたのでどうやらこうした生活のうちに十八年を過ごして來ました

…◇…

ところが民國の二十年になつて苛酷な學良の政策が遂に私どもの

＝生活＝の上に襲ひかゝつて來ましたそれが爲め有識階級のものどもは毓公府の土地を橫領しようと企みまた一般部落民も婦人だといふのにつけ込み年貢の差出しを出し澁るやうになり、次第に年貢の取立ては少くなつて來ました、それだけので自分の土地を確保して置かなくてはと思つて嫌角崛城縣に申告しましたが官吏は學良の覺手と爲收にすつかり手なづけられ私どもの云ふことを一向とり合つて呉れずそうこうしてゐるうちに遂に私どもの土地からは少しの年貢も取り立てることも出來なくなつて了ひ再び私どもは喰ふや喰はずの生活に追ひつめられてしまつたのですしかし幸ひにもその生活を見兼ねて

＝知人＝の金輔臣が私どもを一家なその家に引とつて何くれと世話をして呉るやうになりました、金は實に私どもの苦衷をよく察して總ゆる便宜を與へ自分も貧しいのでたつた一枚の布團にともにくるまつて寢かせて呉たほどでした

…◇…

そうこうして了度今年の三月のことでした、たまたま金の知人の平幸治郎、和田武雄といふ二人の日本人と知り合ひになりました、つき合つてゐるうちに此二人は實に氣心の良い義俠な人義に富んだ人であることが判つたので、此の二人に何も彼も話して自分の身分も財產もおまかせするやうになりました、この人達は矢張り

＝餘裕＝はなかつたけれどその諸雜收のうちから私どもの日用品やらその他萬事の世話をはかつてまたそれと同時に今一度自分達の土地がなんとかならぬものかと相談してその僅かな生活費をさいてこの二人は非常な危險にも拘らず現地の調査にも再三出掛けて呉れました、しかしこの仕事はなかなか簡單に行かないことを知つて更に兩人の知人に相談すべく四月十四日皆んなつれ立つて奉天にやつて來ました

…◇…

そして平氏から穆占明行、田淵武雄といふ人に話し込み力を合せて仕事をすることになり皆から金を集めて現在のこの家を借り受けることになつたのです

＝奉天＝に於ける生活の第一歩がこうして始つたのですが皆金を持たない人達ばかりなのでその生活の困難は並大抵ではありません、遂には總てのものを質屋に持ち込みまた空瓶、鍋、釜などまで賣り拂つてその日の生活を續けて來ました、またこの間何時の間にか暴戾なる學良がその勢力を失つて新しい政府が出來上つたといふことを知つたので、苦しい生活のうちにもやつと少しばかりの金を工面して山海關の舊地を調査したところどうやら取り戻せそうな氣配が見えたので私ども去る九月四日平、穆占の兩氏と共に山海關に出掛け農民に掛け合つてヤツト八百六十餘元の

＝年貢＝を取り立てることが出來ました、しかしこれは旅費その他でまたゝく間に消えてしまひましたがこれに力を得て九月十二日一應奉天に歸つて來ました

…◇…

その頃は既に親族の溥儀氏が滿洲國の元首に就任したことは知つてゐましたが何分現在のこの身分ではあり名乘り出るのもどうかと控へて居りましたがかやうに自分の土地もどうやら確實なものとなつたので逢ひ面會しようかとの氣持ちになりそこでかれてこの四月此方へ來る時車中で平氏が知り合ひになつた中谷せいといふ方にお金も拜借したのでこの人を介して去る二十四日溥儀執政に御面會したやうな譯です

…◇…

＝執政＝のお言葉では近く子供二人だけは引きとつて教育して下さるとのことでしたから私は新政府のお力で熊岳、建山、中の舊地を回復して戴きこれによつて生活して行きたいと思つて居ります

東支の減俸
來月から一齊に一割

東支鐵道管理局ではソウエート政府よりの訓令に基き十一月一日より全從業員に對し一割減俸を斷行することになり在奉天東支鐵道商業代理部にもこの旨通報があつた、これと同時に從來特別支給してゐた宿舍料も同樣一割引下となつたがこの宿舍料は一九三三年度より全廢されると【奉天電話】

鐵道部の表彰狀
二ケ所に授與

滿鐵々道部では驛區無事故表彰內規により埠頭事務所車務係に對し表彰狀並に賞金五百圓を、また大連甘井子埠頭に表彰狀を授與する事となり近く吉富埠頭事務所長が村上部長代理として兩代表に授與の筈

表彰狀　埠頭事務所車務係

昭和六年三月一日以降場內走行粁二十五萬粁に達しその間運轉責任事故皆無なりしは畢竟係員一同常に克く職責を重んじ協心戮力注意周到の致す所にして他の模範とするに足る、仍て驛區無事故表彰內規に依りこれを表彰す

表彰狀　大連甘井子埠頭

昭和六年五月一日以降場內走行粁十萬粁に達しその間運轉責任事故皆無なりしは畢竟係員一同常に克く職責を重じ協心戮力注意周到の致す所にして他の模範とするに足る、仍て驛區無事故表彰內規に依りこれを表彰す

共產黨判決

【東京二十九日發】共產黨大物に對する判決言渡は午後一時半より續行された

懲役五年 大山岩雄　同 宮原省久　同 林兒　同六年 二方榮司　同 箕浦義文　同 森源一郎　同四年 栗原佑　同 竹內文次　同 若松齡　同 寺峰弘行　同 秋笹正之輔　同 小林直衞　同 立石虎記　同 林添進　同 橫井龜夫　同三年 清家俊住　同 有馬毅

同 山本作馬　同 田熊眞澄　同 大和庄祐　同 原俊雄　同三年六月 西島權三郎　同 須永甫　同 櫻庭吉治　同 高橋貞治　同 紫閣太郎　同 河野文雄　同 橋本きくよ　同 笹野與作　同 谷川幸嚴　同 道瀨忠雄　同 白谷安二　同二年六月 松崎健馬　同 伊藤作　同 鈴木よ清　同 高橋露き　同 白川孟子　同 小林重知　同 前田佐人　懲役二年 大原不二久　同 大關善次郎　同 齋藤慶一郎　同 兒玉慶一郎

懲役七年 藤本□□　同 泉義次　同 小野義穣　同 大橋義雄　同 市川弘壽　同 高橋義一　同 福田盛春　同 宮內桃作　同 川崎貞三郎　同 中村次郎　同 坂本義清　同 菅野金司　同 龜田英雄　懲役九年 難波行盛　同 戶數諱吉　懲役六年 上野宮廣　同 宇都信明　同 橋本資治　同 吉田信利　同 柴橋後保　懲役十年 伊藤祭喜　同 立石後藏　同 西村三次郎　同 佐々木三次極　懲役五年 富安見春雄　同 吉見治雄　懲役三年 小川勝一郎　同 龜井貞三郎　執行猶豫 中村桃作　同 川崎佐久　同 大原不二郎　同 大關善次郎　同 齋藤慶一郎　同 坂本次郎　同 兒玉慶一郎　同 龜田金司　同 市川義雄　同 高橋弘壽　同 福田義一　同 宮內盛春

共產黨判決B組 懲役十二年 砂間一良　懲役十年 安藤敏夫　懲役八年 山神種一　同七年 中川爲助　同 田中松次郎　同六年 高岡一男　同 佐藤廣次　同 酒井定吉　同 陳來旺　同五年 虎田萬吉　同 伊藤學道　同四年 奥田德太郎　同 阿部研一　同三年 園部眞一

佐野は叫ぶ
◇…階級裁判に反對だ

【東京二十九日發】午後の判決全部の言渡しを終つたが最後に被告佐野學が發言を求め

吾々に對し無期懲役の重刑を課したのは明に資本家階級が自己擁護の階級裁判である吾々は斯の如き階級裁判に對しては絕對に反對であるから全部控訴手續をとつて飽迄爭ふ積りだ、又最近共產黨がテロリズムに轉向したといふデマが飛んでゐるそうだが黨は常に大衆と結合してゐるから斯るデマは資本家階級のする宣傳に過ぎないと思ふ、尚一審判決は終了したのだから被告全部の卽時釋放を要求すると述べ午後二時閉廷した

小春日和に惠まれて
賑ふ日曜日の鋪道

滿洲里の邦人婦女子
百廿名露領へ引揚げ
二十九日午後八時に

【ハルビン特電三十日發】曩に山崎領事が提出した名簿により滿洲里居留民中婦女子百二十名は廿九日午後八時露領に引揚げた

ほとぼり冷めて
立寄つたを御用
六人組强盜の片割れ

去る八月廿三日鶏子窩管內淸水河會吳子屯五九番地吳永方へ襲つて反つて被害者より射殺された瓦房店生れ陳延春（三）の死體を遺棄して逃走した六人組拳銃强盜團ほかれて鶏子窩署よりの手配で沙河口署では管內侵入を警戒中廿九日午後一時ごろ犯人一味の實弟に當る市外香爐礁一區千學生方に手配中の犯人である同人の實兄前科一犯千學功（三）が立ち廻つたのを同署の阿部刑事部長が探知し逮捕した殘り四名は目下嚴探中

產馬協會競馬
第一日の午後

廿九日の星ケ浦競馬第一日目午後よりの成績左の通り、當日馬券賣揚げ四萬一千四百八十五圓

▲第五競馬（駈歩速歩十一頭）二千八百米（第）一着一飛（小川）八分廿九秒一、第二着水源、第三着白羽、配當單廿圓六十錢、複一着九圓十錢、三着六圓三十錢（附加券）一等二百八十九圓四十錢、二等九十六圓四十錢、三等四十八圓二十錢、以下六圓九十錢

▲第六競馬（秋抽十三頭）千四百米、第一着王玉（橋本）一分五十九秒四、第二着足柄（馬身半）第三着右近（四馬身）配當單十一圓五十錢、複一着六圓五十錢、二着七圓五十錢、三着八圓三十錢（附加券）一等三百廿一圓六十錢、二等百六十七圓二十錢、三等五十三圓六十錢、以下五圓九十錢

▲第七競馬（各抽九頭）千八百米第一着天馬（川合）二分廿五秒四、第二着藤（九馬身）第三着白山（四馬身）配當單五圓六十錢、複一着五圓七十錢、三着九圓二十錢、二着九圓十錢（附加券）一等三百八十四圓、二等百二十八圓、三等六十四圓以下十二圓八十錢

▲第八競馬（秋抽十四頭）千六百米、第一着玉兎（堤）二分十六秒二、第二着桂（三馬身）第三着呼倫（五馬身）配當單二十五圓四十錢、複一着八圓四十錢、二着七圓四十錢、三着八圓十錢（附加券）一等五百十八圓四十錢、二等百七十二圓八十錢、三等八十六圓四十錢以下七圓八十錢

▲第九競馬（各抽九頭）千六百米第一着張飛（齋藤）二分十□□二、第二着明年（三馬身）第三着陣（一馬身半）配當單三十八圓八十錢、複一着十一圓六十錢、二着十五圓八十錢、三着二十三圓四十錢

▲第十競馬（各抽十頭）千六百米第一着魁（長友）二分十四秒、第二着瑞寶（一馬身）第三着良因（二馬身）配當單無し、複一着十七圓七十錢、二着七圓四十錢、三着八圓十錢（附加券）一等五百六十三圓、二等百八十七圓六十錢、三等九十三圓八十錢以下十三圓四十錢

▲第十一競馬（各抽十三頭）千八百米、第一着飛（二渡）二分卅一秒一、第二着吉林（半馬身）第三着滿洲（頭）配當單七圓十錢、複一着五圓六十錢、二等六圓八十錢、三等十一圓五十錢（附加券）一等五百六十五圓四十錢、二等百八十八圓四十錢、三等九十四圓二十錢、以下九圓四十錢

▲第十二競馬（各抽十頭）千八百米、第一着角凌（奥田）二分廿三秒二、第二着龍（二馬身）第三着千昌（二馬身）配當單六圓五十錢、複一着六圓四十錢、二着十一圓十錢、三着三十圓八十錢（附加券）一等五百五十四圓四十錢、二等百八十四圓八十錢、三等九十二圓四十錢以下十三圓二十錢

▲十三競馬（各抽十頭）千八百米第一着三角（山下）二分廿五秒四、第二着一白（一馬身）第三着海拉爾（一馬身）配當單五圓七十錢、複一着五圓三十錢、二着九圓五十錢、三着七圓（附加券）一等四百九十五圓八十錢、二等百六十五圓二十錢、三等八十圓六十錢以下十三圓七十錢

催郷は三十日はいづれも午前九時から開くが日曜日でもあり最終日であるから尚一層の盛況が豫想されてゐる

羽衣高女のバザー
第一日の盛況

廿九日の大連羽衣高女新築落成記念バザー第一日は小春日和の好天に惠まれ午前中から子供連れの奥樣やお孃さん連で大賑はひを呈し三越支店出品の婚禮衣裳陳列場や勝又の最新型婦人コート陳列場等は身動きもならぬ位の大混雜であつたが午後に入つて林滿鐵總裁をはじめ各方面多數知名士等の顏も見え午後五時半閉會までに入場者約一萬五千、出品物も大半賣れて

バラ〳〵事件映畫化
問題となる

【東京二十九日發】バラ〳〵犯人逮捕と共にロシア小說にでもありそうな犯行經過に各映畫會社は一齊に超スピードで「愛と憎」「涙の慘劇」「呪ひの宿命」等々犯人同棲の映畫を僅か一週間ででつち上げたところ其の後の調査で犯人一家が被害者の口車に乘つて被害者のルンペンなる事判り遂に兄弟二人で撲殺した事判明、映畫會社大狼狽し檢事局も出版法第十六條に依り犯人に同情は不可なりとの強硬態度を持してゐるので既に封切されたものもあり一兩日中完成するものもあり此のところ頭痛鉢卷の態である

箱根、生駒に空の燈臺
近く完成

【東京三十日發】去る十月二日南遞相が臨席して地鎭祭を行つた箱根燈臺は早くも鐵塔工事を終へ來月十日頃までには送電線、燈器據附を終り一切の工事を終へ近く空の燈臺が出現する、なほ生駒山の燈臺も箱根と同時に完成を見る筈で更に八重津（靜岡）常江（愛知）二個所は來年五月起工する事になつた

張作霖御難

奉天瀋海線驛前の廣場に立つてゐる張作霖の大禮服姿の銅像のサーベルや勳章等の部分が何者にかもぎとられてゐるのを最近發見された、多分泥棒の地金取りの仕業であらう、同銅像は今から六年前張作霖の山海關地方の饑饉救濟の御禮として同地方民が建立したものである【奉天電話】

營口社員會
廿九日夜發會式

社員會幹事長、加藤新吉部長、加藤畜二部員の三氏は廿九日夜營口で催される社員會營口聯合會發會式に出席のため廿九日十時三十分發の列車で赴營した

小寺選手勝つ

【東京特電二十九日發】オール日本庭球選手權大會に初出場の滿洲代表小寺選手の戰績左の如し

第一回（二十九日）

小寺　九―七、七―五、六―三　桐原（慶應）

尚第二回戰は三十日慶應山田選手と對戰の筈

早大勝つ

【東京廿九日發】早帝第一回戰は二十九日午後二時早大先攻にて開始されたが結局十八對三で早大大勝、閉戰四時八分

早大再勝

【東京三十日發】早帝第二回戰は本日午後二時帝大先攻で開始されたが帝大振はず得點なく六A對零で早大優勝した閉戰三時二十七分

滿鐵社員會常任幹事の花形曾田正彦君が結婚することとなつたが式は從來の慣例を破つて滿鐵社員俱樂部で舉げられるのである、社員會修養部長武田胤雄氏はかれてから結婚式の合理化を叫んで、滿鐵社員は全部社員俱樂部で舉式せよといふことを高唱して來たのであるが、先づこのトップを社員會の常任幹事が切ったわけで社員會でも大乘氣。

…◇…

曾田幹事は披露宴も一緒に社員俱樂部でやる筈であつたが新夫人のお父さん達がどうもそれではといふやうなことになつてことになつたのであるが一決唱結局披露だけは扶桑仙館といふことに、また結唱夫和、双方譲り合つて中庸をとるのもまた大いによろしい」と修養部長は喜んでゐる。